

理学のツボ

2015



Keep Innovating.
京都産業大学
2015年、創立50周年

「理学のツボ2015」のツボ

～より活用するために～

- ❖ 重要な箇所は朱書きで記入しています。
- ❖ 大事な所はアンダーラインあり！
- ❖ 開催日時の空欄は電子掲示板POSTを参照し、記入してください。
- ❖ 各項目の詳細は履修要項や知得本、担当事務室で確認をしてください。

INDEX Pickup

- ▷ 大学からの連絡事項を知る・・・P.9～
- ▷ 授業関連・・・P.11～
- ▷ 試験・・・P.15～
- ▷ 理学部・・・P.19～
- ▷ 奨励金・奨学金・・・P.31～
- ▷ 教職・・・P.34～
- ▷ 大学院・・・P.37～
- ▷ 進路・・・P.41～
- ▷ 教員紹介・メール・オフィスアワー・・・P.51～

理学のツボ2015

理学のツボ2015は、理学部学生として大学4年間の学習活動が充実したものになることをサポートするためのものです。スペースに限りがあるため詳細には触れきれない事柄もありますので、履修要項や知得本と併せて活用してください。

京都産業大学		教員になるには	
建学の精神	3	教職課程	34
学歌	4	理学部で取得できる教員免許状	35
キャンパスカレンダー		教職コンベンション&講演会	35
平成27年度 学年暦	5・6	教員採用試験対策セミナー	36
理学部から		大学院	
学部長からのメッセージ	7	研究者や高度な専門職業人という進路	37
理学のツボ・ガイダンスについて	8	募集人員・入学定員	38
「POST」を活用しよう		入学試験日程	38
大学からの連絡事項	9	学内推薦入試制度	38
授業		本学独自の奨学金(給付)	39
授業科目・単位制とは・授業時間	11	大学院入試説明会	40
補講・休講	12	大学院説明会	40
履修登録		自分探しの貴重な体験	
履修登録とは・履修登録方法	13	理学部生おすすすめインターンシップ	41
Web履修登録の流れ・履修中止(ドロップ)制度	14	就職ガイダンス(3年次対象)	42
試験・学業成績		合同企業説明会(4年次対象)	43
試験の種類・定期試験・追試験	15	求人紹介フェア(4年次対象)	43
試験に関する注意事項	16	自分の可能性に挑戦しよう	
受験に際してのアドバイス	18	図書館書評大賞	44
学業成績	18	サガタリウス・チャレンジ	45
数理科学科		学内でのアルバイト	46
教員からのメッセージ	19	学内の施設を活用しよう	
履修のポイント	19	図書館	47
履修相談・低単位指導について	20	教学センター	49
物理科学科		保健管理センター	50
教員からのメッセージ	21	教員紹介	
履修のポイント	21	数理科学科	51
履修相談・低単位指導について	22	物理科学科	52
GSC		電子メールの書き方	54
グローバル・サイエンス・コース(GSC)	23	オフィスアワー	55
活用しよう		よく利用する建物(館)	
ピア・サポート制度	25	よく利用する建物	57
理学部スチューデントラボ	26	万有館(理学部)	58
サイエンスラウンジ	27	12号館	59
ランチタイムトーク	28	1号館	60
大学院生から勉強についてのアドバイス	29	本館	61
奨励金制度	31	10号館	62
奨学金制度	32	大教室棟	63
奨学金制度	31	利用頻度の高い窓口一覧・学生食堂一覧	64
ちよっとリアルなお話		各種証明書・手書き書類	
留年について	33	各種証明書の交付申請	65
キャンパスマップ		各種顕出・届出・手続きなど	66
Campus Map		67-68	

建学の精神

いかなる国家社会においても、大学は最高の研究・教育の機関である。大学の使命は、将来の社会を担って立つ人材の育成にある。

その教育の目標は、高い人格をもち、人倫の道をふみはずすことなく、社会的義務を立派に果たし得人をつくることであり、しかもその職域が国内であろうと海外であろうと、その如何を問わず、全世界の人々から尊敬される日本人として、全人類の平和と幸福のために寄与する精神をもった人間を育成することである。

このような人間は、日本古来の美しい道徳的伝統を精神的基盤とし、東西両洋の豊かな文化教養を身につけ、絶えず変動する国内情勢に関して十分な知識をもち、その科学的分析によって正しい情勢判断のできる能力を備え、如何なる時局に当面しても、常に独自の見解を堅持し自己の信念を貫き得る人間である。

かかる学生の育成が、本学の建学の精神である。



創設者 荒木 俊馬

学章



サギタリウスは射手座。その意味は希望。広大無辺な大宇宙を駆けめぐるギリヤ神。新しい時代の青年の将来と世界的雄飛を期待する本学の学章です。

京都産業大学学歌

荒木 俊馬 作詞
園 伊玖磨 作曲

一
あめつち ひら
天地の 開けし時ゆ
しず 鎮まりませる
神々の 神よ
その山に
神山の 学び動はく
むすびわご われら若人
産業 次への
たくま わが日の本を
運しよ 担いて立たむ

二
あまぐも むかふ きわ
天雲の 向伏す極み
たにくぐ 谷娘の
さ渡る極み

有りとする 全人類の
幸福と 平和の為に
いのち ささ 捧げて惜いぬ
わが命 うつしみ 形造りに
現身の かわちづく
われら励まむ

三
はがね からだ きた
鋼鉄なす 身体を鍛え
くがね こころ みが
黄金なす 精神を磨き
あらたま 真理を窮め
新珠の 意気高らかに
剛健の 希望
あまげ のそみ
天翔る 希聖抱きて
五大洲 うみ
七つの洋に
雄飛し行かむ

- 天地(あめつち)の開(ひら)けし時ゆ/天と地とが分れ、開けた時から、この世界の始まりの時を表す語句。「ゆ」は「よりの」意。「開」は閉じているものが開く意で「開眼(かいびやく)」の熟語を作る。「古事記」の序文に「天地開闢(あめつちのひらけとき)より始めて…」とある。
- 神山(こうやま)神の降臨する神聖な山。ここは固有名詞で、上賀茂神社の正面遥か後方に眺められる円錐形の山頂の山。上賀茂神社の御神体山。本学キヤンパスからもその姿が北方に美しく望まれる。
- 本山(もとやま)/本学の所在地名。北区上賀茂本山。
- 産業(むすびわご)/「産業(さんぎょう)」を古語風に表現したもの。「むすび」は、本来「産産(むすび)」で、万物の生じるもとを成す重層的存在。後に「むすび」と濁音化して「産み出す」意となった。
- 動(いそ)はく/「動(いそ)ふ」の名詞化。一心につとめはげむこと。万葉集の藤原原役民(えきみん)の歌に、都を造るための木材を選ぶ民を「…復(いかだ)に作り上(のほ)らすむ動(いそ)はく見れば神ながらならし」と歌っている。
- 天雲(あまぐも)の向伏(むかふ)す極み 谷娘(たにくぐ)のさ渡る極み/天の雲が遠く伏したなびている世界の果て、ひきかえる(谷娘)が選ってゆく地の果て、の意。奈良時代にこの語句はよく使われ、祝詞(のり)や万葉集の歌にもある。「…この照らす日月(ひつぎ)の下は 天雲の向伏す極み 谷娘のさ渡る極み 聞しをす国のまほらと…」(巻五・山上憶良の歌)。当時の神話では、ひきかえるは世界の果てまで動きまわり、何でも知っている動物と信じられていた。
- わが命捧げて惜(いと)いぬ/わが生命をさしあげて後悔しない、惜しいとは思わない、の意。作詞者である荒木俊馬先生が「悔いない」と「惜しまない」とを合成して「惜いぬ」とした同義語。
- 現身(うつしみ)の形造(かたちづく)り/この世に生きている人間としての身体や精神を作ること。すなわち人作り、人格形成。第三番の歌詞で具体的に述べている。
- 黄金(くがね)なす/黄金のような。「なす」は「よくな」の古語。「似す」が語源。
- 新珠(あらたま)の櫻(うめ)り出したまの、まだ磨いていない玉(宝石)。「真理」の祝詞風を用いたもの。
- 五大洲(あした)アジア、アフリカ、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア。
- 七つの洋(うみ)南と北の太平洋と大西洋、インド洋、北極海、南極海。「五大洲 七つの洋」で地球上の全世界を表す。

平成 27 年度 学年暦

	4	5	6	7	8	9
1	水 入学式	金	月	水	土	火
2	木	土	火	木	日	水
3	金	日 憲法記念日	水	金	月	木
4	土	月 創立記念日 みどりの日	木	土	火	金
5	日	火 こどもの日	金	日	水	土
6	月	水 振替休日	土	月	木	日
7	火	授業開始 木 月曜授業	日	火	金 追試験	月
8	水	金	月	水	土	火
9	木	土	火	木	日	水
10	金	日	水	金	月	木
11	土	月	木	土	火	金
12	日	火 履修登録期間 (3月26日～ 4月13日)	金	日	水	土
13	月	水	土	月	木	日
14	火	木	日	火	金	月
15	水	金	月	水	土	火
16	木	土	火	木	日	水
17	金	日	水	金	月	木
18	土	月	木	土	火	金 ガイダンス
19	日	火	金	日	水	土 卒業式 入学式
20	月	水	土	月 休日開講日 海の日	木 追試験	日
21	火	木	日	火	金 追試験	月 歌老の日
22	水	金	月	水	土	火 雷長の休日
23	木	土	火	木	日 授業終了	水 秋分の日
24	金	日	水	金	月	木 授業開始
25	土	月	木	土	火	金
26	日	火	金	日	水	土 春学期 定期試験
27	月	水	土	月	木	日
28	火	木	日	火	金	月
29	水	金	月	水	土	火 履修登録期間 (9月14日～ 9月30日)
30	木	土	火	木	日	水
31	-	日	-	金	月	-

	10	11	12	1	2	3
1	水	日 神山祭	火	金 元日	月	火
2	木	月 休講(終日)	水	土	日	水
3	金	火 休日開講日 文化の日	木	日	月	火
4	土	水	金	月	日	水
5	日	木	土	火	水	木
6	月	金	日	水	木	金
7	火	土	月	火	水	木
8	水	日	火	金	土	日
9	木	月	水	日	月	火
10	金	火	木	土	日	水
11	土	水	金	月 成人の日	火	水
12	日	木 休日開講日 体育の日	土	火	水	木
13	月	金	日	水	木	金
14	火	土	月	火	水	木
15	水	日	火	金	土	日
16	木	月	水	土	日	月
17	金	火	木	日	月	火
18	土	水	金	月	日	水
19	日	木	土	火	水	木
20	月	金	日	水	木	金
21	火	土	月	火	水	木
22	水	日	火	金	土	日
23	木	月 勤労感謝の日	水	日 休日開講日 天皇誕生日	月	火
24	金	火	木	土	日	月
25	土	水	金	月	日	水
26	日	木	土	火	水	木
27	月	金	日 休講(終日) 創立50周年記念式典	月	火	水
28	火	土	月 授業一旦終了	火	水	木
29	水	日	火	金	土	日
30	木	月 神山祭 休講(終日)	水	土	日	月
31	金	-	木	日 休講(終日)	月	火

学部長からのメッセージ

理学(数学・物理学)には、学問自体のおもしろさ・美しさとともに、社会において様々な技術の基盤となっているという2つの側面があります。たとえば、素数を例にとってみましょう。すべての整数は素数の積として表すことができるという意味で、素数は数の理論の根源をなしています。古代のギリシャ人は素数に深甚な興味を抱き、「素数は無限個ある」ことなど様々な美しい結果を証明しました。その後も素数について研究が進んでいますが、リーマン予想をはじめとする未解決の問題がたくさんあり、皆さんの挑戦を待っています。一方で、17世紀に発見された素数に関する定理(フェルマーの小定理、オイラーの定理)は、純粋な知的好奇心から生まれたものであるにもかかわらず、20世紀の後半になって、「RSA暗号」という解読が極めて難しい暗号に应用されました。これは、理論から社会における応用へという方向ですが、逆に応用的研究から極めて抽象的な理論が生まれることもあります。たとえば、インターネットの技術的基盤のひとつに、いかに効率よく情報を符号化するかという問題がありますが、この極めて実際的な問題の研究が、20世紀最大の成果のひとつである群論の「モンスター予想」の解決に直接関係しています。

学部での学びは、知識を習得し実習や演習で身につけることがまずは大切ですが、ときには、学んでいる学問の歴史を知ったり、学問と社会との関わりについて調べて思いをはせるのも、視野を広げるよいきっかけになると思います。

理学のツボ・ガイダンスについて

理学部では、年に2回(春:1年次は4月、在学生は3月、秋:9月)のガイダンスを実施しています。

春学期のガイダンスでは主に履修(勉強)に焦点をあてた内容になっています。

秋学期のガイダンスでは、学生生活や進路選択に重点をおいています。ガイダンスには必ず出席して、「お得な情報収集」を行い、自己の研鑽に役立ててください。

	春 学 期	秋 学 期
1年次	修学にあたっての注意点 履修登録について 4年間の大学生生活の流れ 「大学生としての心得」 例・教員・在学生との交流	春学期の成績状況について 秋学期の履修科目についての方向性 「進路についての意識付」 例・自分の将来を考えるヒント(内定者、教員からのメッセージ)
2年次	単位の履修状況(特に必修) 特研を意識した履修について 「進路に関するモチベーションアップ講座1」 例・特研教員と学生のお話	春学期の成績状況について 特研を意識した履修について 「理学部生のための教養講座1」 例・2年次生からの進路選択(進路センター)
3年次	単位の履修状況(特に必修) 特研以外の単位取得の確認 「進路に関するモチベーションアップ講座2」 例・就活、教職、進学への道(体験談)	特研選択に係る説明 「進路に関するモチベーションアップ講座3」 例・進路のお話(進路センター委員教員)
4年次	3年間の振り返り(単位修得) 「理学部生のための教養講座2」 例・社会へ出る心構え(進路センター)	卒業に向けて単位取得の状況 「理学部生のための教養講座3」 例・本のお話・4年次生に伝えたいメッセージ

※朱書きは教学以外の内容です。内容は変更になる場合もあります。

「POST」を活用しよう

大学からの連絡事項

電子掲示板POST

大学からの連絡事項は、電子掲示板POSTで伝達します。
パソコンやスマートフォン等から定期的にアクセスして、必要な情報を逃さずに確認する習慣をつけてください。

1日1回「POST」にアクセス!

主な伝達事項

- 緊急連絡事項
- 休講・補講情報
- 教室変更情報
- 定期試験時間割
- レポート試験の告知
- 各種行事日程等の告知
- 呼出等学生個人に向けた情報

電子掲示板POSTへのアクセス方法

- ① 本学のトップページを開く <https://portal.kyoto-su.ac.jp/portal/>
*携帯電話URL <https://portal.kyoto-su.ac.jp/portal/ktop.do>
- ② トップページの「在学生の方へ」をクリック
- ③ 「POSTへのLogin」をクリック
- ④ 本学発行の「ユーザID」と「パスワード」を入力



[携帯電話版]



[スマートフォン版]

休講・補講情報、教室変更情報 検索

休講・補講及び教室変更は、履修している科目だけではなく全ての情報を検索できます。

休講・補講情報は15分に1回更新します。



試験情報 検索

試験期間開始の10日前頃から情報を検索できます。



掲示板(紙掲示)

電子掲示板POST以外に、学内に設置されている掲示板(紙掲示)で大学からの連絡事項を伝達する場合があります。

電子掲示板POSTでお知らせした内容は、周知されたものとみなします。
電子掲示板POSTを見なかったために生じる不利益は、学生本人の責任となります。
また、掲載後、内容が変更される場合もありますので、電子掲示板POSTを1日に1回はチェックする習慣および登校の際は必ず学内に設置されている掲示板(紙掲示)に目を通す習慣をつけてください。

理学部の掲示板(紙掲示)は、万有館1階にあります。(P.58参照)

授業科目

授業科目は、理学部各学科の専門領域を学ぶ「**専門教育科目**」、一般教養を学ぶ人間教育科目と外国語を学ぶ言語教育科目に加え体育教育科目およびキャリア形成支援教育科目から構成される「**共通教育科目**」、さらに「**融合教育科目**」に分かれています。また、学科や入学年度ごとに、それぞれに卒業に必要な単位数が定められています。

また、それらの科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目、自由(随意)科目のいずれかに指定されています。

- ①**必修科目**:必ず修得しなければ、卒業ができない科目。
- ②**選択必修科目**:特定されている科目の中から、一定の単位数を必修とする科目。
学科が指定する一定の単位数以上を修得しなければ卒業できない科目。
- ③**選択科目**:特定されている科目の中から、自由に選んで履修できる科目。
学科が指定する単位数までは卒業要件単位として扱われる科目。
- ④**自由(随意)科目**:単位修得しても卒業要件単位としては扱われない科目。
※詳しくは、履修要項を参照してください。

単位制とは

大学における学修は、単位制で行われます。「**単位制**」とは、最低4年間の修業年限中に、卒業に必要な単位数を修得する制度です。卒業することによって、「**学士**」の学位記が得られます。「**単位**」は、基本的に2単位ですが、語学や演習、実験などの科目の性格によっては、単位数が異なります。履修登録を行った科目については、**予習・復習を含めた学修に対して合否評価を受け、60点以上の評価を得ることで、当該科目の単位を修得したことになります。**

授業時間

高校までは、1時間が45分程度で授業が行われていましたが、**大学では、ほとんどの授業が90分で行われます。**最初は、長く感じられるかもしれませんが、高校よりはるかに専門的な内容を教えるためには、90分という時間が必要です。最初は、集中力を維持するのはたいへんかもしれませんが、できるだけ早く大学の授業スタイルに慣れましょう。

時 限	時 間 帯
第1時限	9:00～10:30
第2時限	10:45～12:15
第3時限	13:15～14:45
第4時限	15:00～16:30
第5時限	16:45～18:15

※詳しくは、履修要項を参照してください。

出席の重要性

大学の勉強は、高校までの知識だけを身につけるのではなく、学問を理解することにあります。特に理系の学問は、根本にある原理を十分理解することから始まり、その周辺の学問へと範囲を広げていきます。理系の学問を学ぶ第一歩が、**授業・出席すること。**1度授業をサボるとわからない事柄が生まれ、2回サボると自力で学習するのは、**不可能に近い状態に陥ります。**最初が肝心。きっちりに授業に出席する学習習慣を身につけましょう。

補講

休講となった授業は、補講が行われます。授業の進度を補う授業として補講を行う場合があり、直接担当教員が指示するほか電子掲示板POSTにより行われます。

「POST」による休講・補講情報検索 (P.9～10)

情報はあらかじめ予定されたものだけに限りませんが、**したがつて当日に緊急発生する事項は学内に設置されている掲示板等に掲示します。**

休講

特別な理由による臨時の全学休講および教員の都合による休講については、電子掲示板POSTにより行われます。

休講の掲載がなく、30分待っても授業が行われない場合は、**教学センターで確認してください。**

交通機関がストライキを実施した場合の授業

JR(米原～西明石)、京阪電気鉄道、阪急電鉄、近畿日本鉄道の各京都線および京都市バス、京都市営地下鉄のいずれかがストライキを実施した場合。

- ①午前6時30分までに解除した場合は、平常どおり行います。
- ②午前6時30分までに解除せず、午前10時までに解除した場合は、午前中を休講とし、午後は平常どおり行います。
- ③午前10時までに解除しない場合は、終日休講となります。
上記以外の交通機関のストライキにより登校不能または遅刻した場合は、速やかに担当教員に直接届け出てください。

暴風警報が発令された場合の授業

次表のいずれかにおいて暴風警報が発令された場合は、下記のとおり取り扱います。

- ①午前6時30分までに解除した場合は、平常どおり行います。
- ②午前6時30分までに解除せず、午前10時までに解除した場合は、午前中を休講とし、午後は平常どおり行います。
- ③午前10時までに解除しない場合は、終日休講となります。
- ④午前10時以後に発令された場合は、発令時点に行われている次の授業から休講します。
なお、他の地区に警報が発令されて登校不能等が生じた場合は、速やかに担当教員に直接届け出てください。
また、教学センター長の判断により、警報発令前に休講とする場合もあります。その場合の連絡は電子掲示板POSTあるいは、大学のホームページにて行います。

京都府南部における次の区域	
(1)京都・亀岡	京都市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町
(2)山城中部	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町
大阪府における次の区域	
(1)大阪市	大阪市
(2)北大阪	高槻市、豊中市、池田市、吹田市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
(3)東部大阪	枚方市、寝屋川市、交野市、守口市、門真市、四條邨市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市
滋賀県南部における次の区域	
(1)近江南部	大津市(近江西部の区域を除く)、草津市、守山市、野洲市、栗東市
兵庫県南部における次の区域	
(1)阪神	神戸市、三田市、宝塚市、芦屋市、西宮市、川西市、伊丹市、尼崎市、猪名川町

履修登録

履修登録とは

大学では、自分で履修計画を立て、受講したい科目を各自で登録しなければなりません。「履修登録」とは、その年度の春学期または秋学期に受講しようとする科目を学部に届け出ることをいいます。したがって、履修登録を行っていない科目は、単位を修得することはできません。

履修要項の当該入学年度部分をよく読み、卒業までに修得しなければならない授業科目を理解したうえで、自ら登録してください。

各年次の履修登録上限単位数

年次	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
単位数	24	24	24	24	24	24	24*	24*

*平成22年度以前入学者は30単位。

履修登録方法

履修登録は、春学期と秋学期の定められた期間内に、本学ではWeb上で「履修登録」を行います。但し、以下のとおり履修登録方法が異なる科目があります。

※詳しくは、履修要項を参照してください。

- ①クラス指定科目：人数制限等の関係から、あらかじめ指定（曜日・時間）されたクラスで履修する科目。言語教育科目と理学部の専門教育科目（特に1年次）に該当の科目があります。
- ②予備登録科目：演習科目等、あらかじめ募集を行い、書類選考等により履修登録を決定する科目。【履修要項を参照】
- ③履修者制限科目：履修登録希望者が多く、人数制限の関係から、抽選により登録を許可する科目。履修登録希望者は、Web事前登録やマークカード等により申し込みを行う。

履修登録の確認

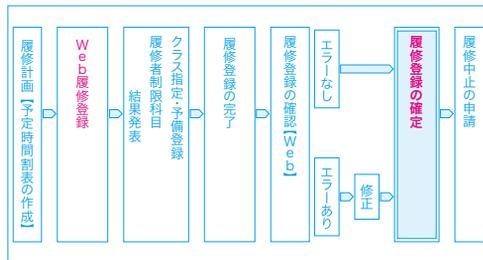
Web履修登録のトップページから「履修申請チェック」のボタンをクリックして表示される「登録内容確認表」画面に記載されている科目が、実際に登録された履修科目です。正確に登録されているか点検・確認してください。エラーメッセージのない科目も必ず確認してください。

登録科目の修正

履修登録した科目については、エラーがある場合など、やむを得ない場合に限り、変更を行うことができます（履修登録期間終了後の安易な変更は認められません）。

エラー等がある場合、履修登録期間中にWeb履修登録「履修申請書」画面から修正を行ってください。

Web履修登録の流れ



	春 学 期	秋 学 期
履修登録期間	3月26日(木)～4月13日(月)	9月14日(月)～9月30日(木)

※詳しくは、履修要項および別冊ガイドを参照してください。

履修中止（ドロップ）制度

「履修中止（ドロップ）制度」とは

「履修中止制度」とは、履修中の科目が、不合格となることでGPAが下がることを回避するため、授業期間の途中に履修を中止することができる制度です。

※詳しくは、履修要項を参照してください。

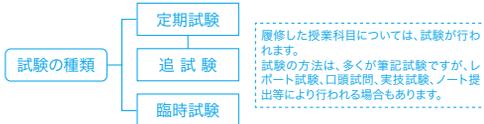
「履修中止」の願い出について

履修中止の願い出は、下記の期間に「履修中止願」を教学センターに提出してください。期間後の申請および履修中止の取消は一切認めません。

学期	履修中止願い出期間	願い出窓口
春学期	6月 1日(月)・ 2日(火)	教学センター
秋学期	11月16日(月)・17日(火)	

*履修中止の願い出後、「Web履修登録システム」の「登録内容確認表」で点検・確認してください。

試験の種類



※臨時試験は定期的に行われる小テストなどを含みます。

定期試験

一定の期間と時間割を定めて、春学期試験(春学期末)と秋学期試験(秋学期末)の2回実施されます。

試験の時間割は、通常の授業曜日、時限と異なることがあり、土曜日や日曜日に試験が組まれることがあります。

また、試験時間帯は次の通りです。時間帯は通常の授業時間と異なります。

時 限	時 間 帯
第1時限	9:30～10:30
第2時限	11:00～12:00
第3時限	13:00～14:00

時 限	時 間 帯
第4時限	14:30～15:30
第5時限	16:00～17:00
第6時限	17:30～18:30

注:科目によっては、最長90分の試験時間となる場合もあります。

追試験

追試験は「チャンスが2度ある」といった意味の制度ではありません。規定の理由により定期試験を受験できなかった場合、追試験期間中に受験が可能な場合、願い出の対象となります。

願い出後、許可となれば追試験の受験資格が与えられますが、許可されたからといってご自身に追試験を受験するかしないかの決定権が与えられたわけではありません。追試験が許可された方のためだけに特別に試験の機会を用意するもので、自分の都合で受験しないということは認められません。十分注意してください。不明な場合は必ず、教学センターに連絡・相談し、指示を仰いでください。

(1) 定期試験を次の理由により受験できなかった場合、願い出て許可になれば追試験を受験することができます。

- ① 教育実習および介護等体験(教職課程教育センターの証明書要)
- ② 博物館実習(教学センターの証明書要)
- ③ 卒業後の進路に関する試験(就職活動の場合は、あらかじめ進路・就職支援センターの指導を受け、所定の手続きが必要)
- ④ 裁判員候補者として呼出を受けた場合または裁判員に選任された場合(公的証明書要)
- ⑤ 自己の責めによらない不慮の事故又は災害(公的証明書要)

- ⑥ 一親等・二親等の親族の死亡又は葬儀(公的証明書又は葬儀日程のわかるものが必要。原則2日間)
- ⑦ 病気又は負傷(診断書要)
 - ※加療期間等の記載内容から当日受験できないことが読みとれる診断書に限る。
 - <診断書>
「体の調子が悪くてずっと家で寝ていた」では第三者に対して証明することができません。公的な証明を必要としますので、必ず当日中に医療機関で診察を受け診断書を取得しておいてください。
- ⑧ 交通機関の遅延(交通機関の遅延証明書要)
- ⑨ その他、本学が特にやむを得ないと認めた場合(教学センターの指定する証明書が必要)
- ※受験手続-教学センターで交付する「追試験願」に所定事項を記入し、追試験料(1,000円×受験科目数)額面分の証紙を貼付し、当該科目の試験実施日を含めて3日以内(土・日・祝日を含む)に教学センターに提出してください。金曜日試験については、土曜日の窓口取扱い時間帯までとなります。また、層によっては試験当日の窓口取扱い時間帯となる場合もありますのでご注意ください。

試験に関する注意事項

試験に関する伝達

定期試験に関する伝達は、電子掲示板POSTにより行います。ただし、臨時試験については、授業担当者から直接口頭で伝達される場合もあります。実施する授業科目および時間割は、試験期間開始の10日前頃に電子掲示板POSTにて発表します。

なお、発表後も変更になる場合がありますので、注意してください。※追試験については、別途、願い出許可者に指示します。

筆記試験

- (1) 受験の心得
 - 受験に際しては次の点を遵守しなければなりません。
 - ① 試験開始10分前には前列から詰めて着席し、静粛を保たなければならない。ただし、座席指定の場合は、指示に従って着席しなければならない。
 - ② 受験中は、机上に学生証を提示しなければならない。学生証(学生証番号、本人氏名、顔写真)をもって本人確認を行うため、顔写真が不鮮明等の理由により、学生証による本人確認が行えない場合は試験が無効となることがある。
 - ③ 筆箱および下書きは試験開始前にかたづけなければならない。クリアケースのカバンを持っている学生は、中身が見えないよう、椅子の下に置かなければならない。
 - ④ 携帯電話・携帯音楽プレイヤー(iPodなど)等は電源を切りカバンの中にかたづけなければならない。時計としての使用は認められない。もしも試験中に着信音(マナーモード含む)等が鳴った場合は、勝手に自分で触れず、手を挙げて監督者の指示に従わなければならない。
※上記について監督者の指示に従わず勝手に手を触れた場合、不正行為とみなすので、注意すること。
 - ⑤ 解答用紙最下段の氏名欄等は、黒・濃紺色のペンまたはボールペンで記入しなければならない。

試験・学業成績

※詳しくは、履修要項を参照してください。

- ⑥問題および解答用紙は必ず提出しなければならない。
- ⑦試験開始後40分経過するまでは退場できない。
- ⑧問題および解答用紙の提出は監督者の指示に従い、すべてのものを持って、監督者が指定する出口から退場しなければならない。
- ⑨指定された日時および試験場で受験しなければならない。

(2) 受験中の禁止事項

- ①許可なく物品・教科書・ノート類を貸借したとき。
- ②他人の答案をのぞき見て写したとき、および写させたとき。
- ③私語を行ったとき。
- ④持込許可物以外の持込みおよび参照(カンニングペーパー等)したとき。
- ⑤本人との替え玉受験を行ったとき。
- ⑥机上等への書込みを行ったとき。
- ⑦解答用紙を持ち帰ったとき。
- ⑧不正な態度および監督者の指示に従わないとき。

禁止事項に反した者は不正行為とみなし、即時受験停止および当該科目の無効を命じられ、さらに、学則50条により退学、停学等の懲戒を受けます。

(3) 次の場合は、失格または無効となります。

- ①「受験中の禁止事項」に反した場合。
- ②履修登録をしていない科目を受験した場合。
- ③試験開始後10分以上遅刻した場合。
- ④休学又は停学中に受験した場合。
- ⑤試験において不正行為があった場合。

レポート試験

定期試験・臨時試験を問わず、レポート試験を実施する授業科目があります。レポート提出が課された場合はテーマ・様式・提出期限・提出先等を確認し、指定どおりに提出しなければなりません。

提出方法：本学指定の用紙・表紙を使用し、指定された窓口へ本人が学生証を提示し、提出してください。

また、必ずレポートを完成させた状態で提出に来てください。
※用紙については、教員の指示により、この限りではありません。

期限(時間)に遅れた場合は失格となります。
提出後のレポート差替え、変更、内容加筆訂正等は認めません。十分注意してください。

受験に際してのアドバイス

例年よくある誤りについて例をあげて説明します。いずれも大事なことですので必ず認識しておいてください。

持込許可物での「自筆ノート」の解釈

“自筆ノート”とは、他人のノートをコピーしたものとコピーを貼り付けたノート、「講義ノート」と称して売っている類のものではありません。“自筆ノート”とは自分で書いたノートのことです。

自分ですら書いたノート以外のノートの持ち込みは不正行為とみなし処分対象となりますので注意してください。

※パソコンなどで作成されたものも認められません。

持込許可物での「六法(判例の付いていないもの)」の解釈

六法全書は出版社によって判例の付いているものがあります。

条文のあと等に判例が書かれていないか、もう一度自分の六法を確認しておいてください。

「判例が付いていることを知らなかった」「判例が付いていても私は見ない」は通用しません。

レポート試験、筆記試験の両方を課される科目もあります

試験方法は一種類のみとは必ずしも限りません。なかには複数の試験が課される場合もあります。

この科目はレポート試験だから、他は無いだろうと安心せずに、必ず自分が履修登録している科目全てについて確認してください。

学業成績

成績は、100点満点の60点以上を合格とし、授業が終了する当該学期末に科目所定の単位が与えられます。

※詳しくは、履修要項を参照してください。

評価と成績【平成16年度以降入学者】			GPAによる成績評価	
合否	評価	点数	評点	グレードポイント
合格	秀	100~90	100~90	4
	優	89~80	89~80	3
	良	79~70	79~70	2
	可	69~60	69~60	1
不合格	※	59点以下	59点以下	0
	K	試験欠席・棄権	欠席又は棄権及び	
	/	出席日数不足	出席日数不足	

教員からのメッセージ

理学部数理科学科主任

理学部のホームページの学部紹介の中で、数理科学科の特色として、「問題解法を発見するおもしろさを学ぶ」とあります。難しい数学の問題を解くことができたとき、「やったー!」と思わず叫んでしまったという経験を皆さんも持っていると思います。数学のノーベル賞と言われるフィールズ賞を受賞するような数学者にもあります。それは全く同じです。数学をはじめとする学問に限ったことでもありません。スポーツや就職した会社の仕事などでも同じです。「やったー!」という経験は、人生のいろいろな問題解決の場面で、私たちを前へ進ませる大きな力になってくれます。

履修のポイント ※この章は、2014年度の入学生を対象に説明しています。

1年次:「微分積分学IA, IB」「微分積分学演習IA, IB」「代数学・幾何学IA, IB」「代数学・幾何学演習IA, IB」「論理と集合」の5科目の必修科目は数学を学ぶうえで入門にあたる基礎的な科目です。授業には必ず出席し、単位修得しましょう。

2年次:1年次で履修した「微分積分学」と「代数学・幾何学」をより専門的に学習するとともに、「集合と写像」「プログラミング」の選択必修科目が加わります。3年次の「数理科学特別研究Ⅰ」をより高いレベルで学習するためにたいへん重要であり「数理科学特別研究Ⅱ-1・2」の受講条件の対象となる科目です。これらすべての科目の単位修得をめざして頑張りましょう。

3年次:「数理科学特別研究Ⅰ」は1・2年次配当の必修科目のうちから、10単位以上で修得が履修条件です。4年次の「数理科学特別研究Ⅱ-1・2」につながる重要な科目です。

4年次:3年次までに学んだ専門分野を、卒業研究として「数理科学特別研究Ⅱ-1・2」に取り組み、数理科学科での学びの集大成としてまとめます。「数理科学特別研究Ⅱ-1・2」の履修条件は以下の通りです。

- ★1・2・3年次配当の専門教育必修科目をすべて修得していること。
- ★専門教育選択必修科目から、2単位以上で修得していること。
- ★卒業に必要な専門教育科目80単位のうち、50単位以上で修得していること。

※「数理科学特別研究Ⅰ」「数理科学特別研究Ⅱ-1・2」の履修条件を満たしていない場合は、留年となりますので注意してください。

卒業に必要な最低修得単位数(2014年度以降入学生)

学 部	科目区分	科目名	最低必要単位数		
			必修	選択	合計
理 学 部	専門教育科目	必修	32	80	124
		選択必修 選択	2 46		
共 通 教 育 科 目	言語教育科目	必修 英語	8	8	24
	人間科学教育科目	選択科目 人文科学 社会科学	4 4	12	
	体育教育科目	選択			
	キャリア形成支援教育科目	選択			
総合教育科目	選択				

※詳細は、履修要項に記載されている履修規定等を参照してください。
※専門必修科目の科目名について、2015年度入学生より変更になりました。

履修相談・低単位指導について

学期ごとに学修の成果を振り返り、着実に次のレベルへと進めるよう教員と教学センタースタッフによる履修相談を行っています。特に、学期ごとの成績が基準を満たさない場合は、修学をフォローアップするために低単位指導を行います。きちんと授業に出席し、予習・復習を行い単位修得に努めてください。

- 低単位指導基準 ※必修科目は、専門教育科目必修科目修得単位
 - 1年次終了時 修得単位数 25単位未満、必修科目 6単位未満
 - 2年次終了時 修得単位数 50単位未満、必修科目 16単位未満
 - 3年次終了時 修得単位数 75単位未満(留年決定者)
- 数理科学特別研究Ⅰ 履修不可(留年決定者)
- 数理科学特別研究Ⅱ-1・2 履修不可(留年決定者)
- 春学期終了時の低単位指導基準 ※必修科目は、専門教育科目必修科目修得単位
 - 1年次生 必修科目 4科目のうち2科目が59点以下
(試験棄権、出席日数不足含む)
 - 2~4年次生 必修修得状況による
- 低単位指導期間 履修ガイダンス終了後から履修登録期間
※出席日数が少ない場合に、指導することもあります。

3年次生の皆さんへ!

- ① 3年次秋学期に履修する「数理科学特別研究Ⅰ」の履修に先立ち説明会を6月下旬ごろに開催します。詳細は、6月初旬に電子掲示板POSTに掲示予定。
月 日 () 時間: 場所:
- ② 4年次に履修する「数理科学特別研究Ⅱ-1・2」の履修に先立ち説明会を12月初旬ごろに開催します。詳細は、11月中旬に電子掲示板POSTに掲示予定。
月 日 () 時間: 場所:

教員からのメッセージ

理学部物理科学科主任

物理学は、マクロ・巨視的レベル(宇宙、天体、地球、物質)からミクロ・微視的レベル(分子、原子、素粒子)までの自然界の各階層(間)の法則・原理を統一的に記述する自然科学の中で最も基本的な学問です。

物理科学科では、物理学の基礎知識、論理的思考力と解析方法を身につけるために、現代物理学の基礎である力学、弾性体・流体力学、解析力学、光学、電磁気学、熱力学、統計力学や量子力学、相対性理論など応用物理学を、実験・観測・計算機実習・講義・演習と組み合わせ、基礎から先端、応用まで、体系的に理解できる様にしています。

1・2年次では、基礎物理学、基礎物理学実験と基礎数学をしっかりと学習し、3年次では、興味ある物理学の専門分野を選択して専門的知識と方法を習得し、4年次では、興味ある特別研究を専攻して発表し、卒業論文を仕上げます。

道路は、企業(技術系、営業系)、教員、大学院、その他があり、自己分析と進路先分析と自己PRを十分行い、夢に向かって、計画的に段階的に進んでください。

履修のポイント ※この量は、2014年度の入学生を対象に説明しています。

1年次:「**物理学実験A・演習**」は、物理学を学ぶうえで入門にあたる基礎的な科目です。授業にはかならず出席し単位を修得すること。この科目を2年次でも単位修得できなければ、3年次で留年に留年が決定します。

その他、「微分積分学A・B」「代数学・幾何学A・B」「力学A・B」「物理学数学入門」の7科目の必修科目があります。必修科目に指定されていることから重要性は理解できるはず。「物理学実験A・演習」と併せて、8科目すべての単位修得を目標に頑張りましょう。

2年次:1年次で履修した「微分積分学」「代数学・幾何学」をより専門的に学習するとともに、新たに「熱力学」「電磁気学A・B」「量子力学A」の4科目の必修科目が加わります。「**物理学実験B・演習**」にかならず出席し、単位を修得すること。この科目を2年次で単位修得できなければ、3年次で早々に留年が決定します。これらの7科目の単位を修得することによって、3年次での「物理学実験C」をより一層高いレベルで行うことが可能になります。

3年次:「**物理学実験C**」を学習することによって、4年次での「特別研究(特研)」の専門性をより一層高めます。

「物理学実験C」は、2年次終了までに「物理学実験A・演習」および「物理学実験B・演習」の2科目の単位を修得することができなければ履修できません。

4年次:3年次までに学んだ専門分野を、卒業研究として「特別研究(特研)」に取り組む物理科学科での学びの集大成としてとめます。

「特別研究(特研)」は、3年次終了までに「物理学実験A・演習」「物理学実験B・演習」「微分積分学A・B・C」「代数学・幾何学A・B・C」「力学A・B」「物理学数学入門」「熱力学」「電磁気学A・B」「量子力学A」「物理学実験C」の16科目を修得しなければ履修できません。

卒業に必要な最低修得単位数(2014年度以降入学生)

学部	科目区分	科目名		最低必要単位数	
		必修	選択科目	必修	選択科目
理学部	専門教育科目	必修	物理学実験A・演習、物理学実験B・演習、微分積分学A・B・C、代数学・幾何学A・B・C、力学A・B、物理学数学入門、熱力学、電磁気学A・B、量子力学A、物理学実験C	31	80
		選択必修	特別研究1・2	4	124
		選択	<履修要項参照>	45	
先進教育科目	言語教育科目	必修	英語	8	8
	人間科学教育科目	選択科目	人文科学 社会科学	4	14
	体育教育科目	選択	<履修要項参照>		
	キャリア形成支援教育科目	選択	<履修要項参照>		
	融合教育科目	選択	<履修要項参照>		

※詳細は、履修要項に記載されている履修規定等を参照してください。

履修相談・低単位数指導について

学期ごとに学修の成果を振り返り、着実に次のレベルへと進めるよう教員と教学センタースタッフによる履修相談を行っています。特に、学期ごとの成績が基準に満たない場合は、修学をフォローアップするために低単位数指導を行います。きちんと授業に出席し、予習・復習を行い単位の修得に努めてください。

□低単位数指導基準 ※必修科目は、専門教育科目必修科目修得単位

1年次終了時 修得単位数 25単位未満、必修科目 8単位未満

2年次終了時 修得単位数 50単位未満、必修科目 18単位未満

物理学実験C履修不可(留年決定者)

3年次終了時 修得単位数 75単位未満(留年決定者)

特別研究1・2履修不可(留年決定者)

□春学期終了時の低単位数指導基準 ※必修科目は、専門教育科目必修科目修得単位

1年次生 必修科目 5科目のうち3科目が59点以下

(試験棄権、出席日数不足含む)

2~4年次生 必修修得状況による

□低単位数指導期間 履修ガイダンス終了後から履修登録期間

※出席日数が少ない場合に、指導することもあります。

3年次生の皆さんへ!

①3年次秋学期に履修する「観測天文学実習」「物理学特別実験」の履修に先立ち説明会を7月初旬に開催します。詳細は、6月末に電子掲示板POSTに掲示予定。

月 日() 時間: 場所:

②4年次に履修する「特別研究(特研)」の履修に先立ち説明会を12月初旬に開催します。詳細は、11月末に電子掲示板POSTに掲示予定。

月 日() 時間: 場所:

グローバル・サイエンス・コース(GSC)

グローバル・サイエンス・コースとは

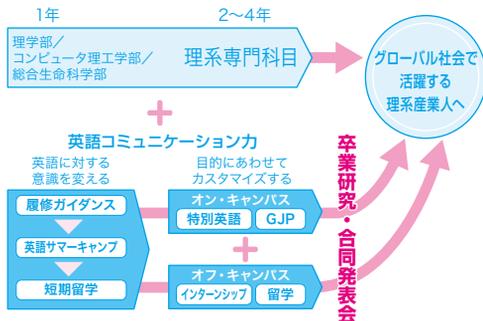
専門領域における自分の考えを、英語で発表し討論する力を磨く！
国際的な競争の激しい科学技術分野においては、研究者だけでなく、エンジニアや専門職として活躍する場合も、英語での対話能力が求められます。理工系の学生にとって、今や英語力は、専門知識とともに必要不可欠な能力となっているのです。

GSCは理学部・コンピュータ理工学部・総合生命科学部の理系3学部と外国語学部が共同して設置するコースです。理系の専門知識とともに、英語力を強化して、グローバル社会でチャレンジする理系産業人の育成を目指しています。

2014年度入学者より対象となります。

コースの概要と特色

各学部の専門的学習とあわせて、英語コミュニケーション力を養う。



グローバル・サイエンス・コースへの登録

コースの履修には、申請による登録が必要です。
第1セメスター(春学期)の6月中旬に説明会を行い、6月末にGSCへの登録応募締切。7月初旬に選考予定です。GSCへ登録された方は、9月の夏期休暇中に行う「特別英語(英語サマーキャンプ)」の履修から本格的なカリキュラムが始まります。

※「特別英語(英語サマーキャンプ)」…英語漬け合宿で「苦手意識」をなくす

英語でしか話せない合宿型集中英語講座を開催。英語漬けになり、合宿の締めくくり「チーム対抗プレゼン大会」では、伝え、説得し、納得させるプレゼンに挑戦します。

カリキュラム

コース登録のうえ、構成表に指定されたとおり合計26単位以上を修得することでコース修了を認定します。

「専門性」の科目から10単位以上
「対話能力」の科目から「コア科目」すべてと「コア選択科目」、6単位以上、かつ「指定選択科目」と併せて10単位以上
「確かなアイデンティティ」の科目から4単位以上
「チャレンジ精神と主体性」の科目から2単位以上

※特に「海外サイエンスキャンプ」の履修を推奨します。

◇構成

	科目名	単位	以上履修可能	配当(卒業生等)履修可能	科目区分	備考	最低修得単位数
専属性	3年次以上配当の専門選択科目	選択			理学部専門教育科目		10
対話能力	数学基礎セミナー(GSCクラス)	コア	2	1	理学部専門教育科目	本コース登録者(数1)のみ	10 科目から6単位以上修得すること
	物理学基礎セミナー	コア	2	1	理学部専門教育科目	本コース登録者(物理)のみ	
	特別英語(英語サマーキャンプ)	コア	1	1	外国語学部専門教育科目	履修制限あり	
	特別英語(英語サマーキャンプを除く)	コア選択			外国語学部専門教育科目	履修制限あり	
	理学英語講義(数学)	コア選択	2	3	理学部専門教育科目		
	物理学英語講義(物理学)	コア選択	2	3	理学部専門教育科目		
	数学英語講義	選択	2	3	理学部専門教育科目		
	物理学英語講義A	選択	2	2	理学部専門教育科目		
	日本思想史入門	選択	2	1	共通教育科目		
	Religion in Japan	選択	2	1	共通教育科目		
確かなアイデンティティ	前近代日本史入門	選択	2	1	共通教育科目		4
	近現代日本史入門	選択	2	1	共通教育科目		
	Historical Origins of Japanese Culture in Historical Perspective	選択	2	1	共通教育科目		
	日本古典文学入門	選択	2	1	共通教育科目		
	近現代日本文学入門	選択	2	1	共通教育科目		
	日本美術入門	選択	2	1	共通教育科目		
	Introduction to Japanese Literature	選択	2	1	共通教育科目		
	Modern Japanese Literature	選択	2	1	共通教育科目		
	京都の伝統文化	選択	2	1	共通教育科目		
	歴史都市京都の文化と観光～京都教育心の誘い	選択	2	1	共通教育科目		
チャレンジ精神と主体性	京都の歴史と文化	選択	2	1	共通教育科目		2
	海外サイエンスキャンプ	選択	2	1	理学部専門教育科目	本コース登録者優先	
	産業と数学	選択	2	2	理学部専門教育科目		
	インターンシップ1	選択	2	2,3,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,37,38,39,40,41,42,43,44,45,46,47,48,49,50,51,52,53,54,55,56,57,58,59,60,61,62,63,64,65,66,67,68,69,70,71,72,73,74,75,76,77,78,79,80,81,82,83,84,85,86,87,88,89,90,91,92,93,94,95,96,97,98,99,100	共通教育科目	履修制限あり	
	インターンシップ2	選択	2	2	共通教育科目	履修制限あり	
	インターンシップ3	選択	4	3年次生に限り	共通教育科目	履修制限あり	
	インターンシップ74	選択	4	2,3,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,37,38,39,40,41,42,43,44,45,46,47,48,49,50,51,52,53,54,55,56,57,58,59,60,61,62,63,64,65,66,67,68,69,70,71,72,73,74,75,76,77,78,79,80,81,82,83,84,85,86,87,88,89,90,91,92,93,94,95,96,97,98,99,100	共通教育科目	履修制限あり	
自己発見と大学生活	選択	2	2	共通教育科目	履修制限あり		

※履修科目の単位の扱いについては、履修規定を必ず確認してください。また、各科目の開講期間や履修制限は履修要項別冊ガイドの授業科目一覧で確認してください。

活用しよう

ピア・サポート制度

みんなに開かれた【ピア・サポート】

楽しみの多い大学生活ですが、不安もあると思います。入学した後に、困ったことも出てくると思います。

そんなとき、頼りになるのがピア・サポーター（新入生をサポートする先輩）です。10号館2階のピア・コミュニティにボランティアで集まった先輩たちが、相談に乗ります。気軽にたずねてください。

相談内容によっては、教学センターや専門の窓口（学生相談室・ボランティア活動室など）へご案内しますのでご安心ください。

ピア・サポートとは

ピア(peer)=仲間 サポート(support)=支援・助け合い
つまり、「仲間同士の助け合い」の意味です。

「こんなとき、ピア・コミュニティに来てね」

1. 時間割の組み方が分からない。
2. 分からないことがあるけど、まだ友達も少なく、どこで何を聞いてよいのかも分からない。
3. 大学生活のツツなどを先輩に聞いてみたい。
4. 一人暮らしは初めてなので、大学周辺のスーパーや飲食店情報などを教えてほしい。
5. 特別に相談することはないけど、誰かと話したい。

新入生のときは、みんな分からないことばかり。最初の一步は、先輩に頼ってください。

■場所

10号館2階ピア・コミュニティ

■活動時間

●入学式から履修登録最終日まで
月曜日～金曜日 / 12:30～17:00

●通常時
月曜日～金曜日(水曜日除く) / 12:30～13:00

理学部スチューデントラボ

理学部生が自由に利用できる自習室です。個人で使用できるキャレルを設置しています。このキャレルには、電源コンセント・インターネットコンセントも設置されており、学生はノートパソコンを持参すれば自習力アップの環境です。

キャレル:21台 場所:万有館4階 (P.58)

利用可能時間: 平 日 8:45～20:00

土曜日 8:45～17:00

※大学の休業期間中は利用できません。

【注意事項】 私語禁止! 飲食厳禁!



理学部ティーチング・アシスタント(TA)からの勉強に対するアドバイスを受けるとき

(1)教科書を開こう!

授業によっては教科書を使わない先生がいますが、必ず指定の教科書の内容で授業を進めています。普段やテスト前の勉強で教科書を見ながら勉強することになると思うので、授業中に教科書と内容を照らし合わせながら目を通しておくといいで。また必要であれば教科書にもメモを書き込んでおく、自習の時に分らなくて詰まってしまうことも少なくなると思います。

せっかく購入するのですから、教科書は有効活用しましょう。

(2)ノートを取ろう!

ノートは黒板に書いてあることを写すのはもちろんですが、写すだけになっては作業になってしまって、頭に残らず眠くなるだけです。ですからノートを取る時は、「黒板の内容を書く」というより「後で自分が分かるようにメモを残す」という意識を強く持つ方が良いでしょう。また、授業で必要そうなこと、そうでなさそうなことを取捨選択し、時には黒板の内容以外にも必要そうなことがあれば、メモを取るように心掛けてみてください。そうすることで作業にならずに考える時間が増えるので、より内容が頭に残りやすく、眠くもならず授業を有意義に受けられるのではないのでしょうか。

(3)先生やティーチング・アシスタント(TA)にどんどん質問しよう!

本学は他大学に比べると、先輩や先生との距離が近いことが魅力の一つでもあると思います。また理学部にはスチューデントラボという自習室も設けられているため、空いた時間にそこで勉強し、分からないところまできたら、先生やTAの人に聞きに行くなどしていくと、効率よく勉強できると思います。また、これによっているいる人となりができると思うので、勉強やテストに関するいろいろな情報が手に入れられるかもしれません。

サイエンスラウンジ



理学部生が学科・学年関係なく、グループディスカッションのできる部屋です。教員や院生ともぜひ利用してください。

場所: 万有館4階 (P.58)

【利用時の注意事項】

飲食は可能ですが、ゴミはきちんとゴミ箱へ。

次に使用する人のことを考えよう!

横にステューデントラボ(自習室)や共同研究室があります。

大きな声、音は出さないでください。

大学行事の際は利用できない場合があります。

※飲食が伴いますのでマナーを心がけましょう!

ランチタイムトーク

【数理科学科】

数理科学科では、数理科学科教員による「ランチタイムトーク」を毎週開催しています。

ここでは、教員や学年を越えた他の学生とのコミュニケーションが図れます。先生や先輩から、勉強するうえでのアドバイスなどを聞いたりすることができ、今後の学習に役立てることが出来ます。時には豊かな経験談を(失敗談も!?)聞くこともできるでしょう。教員や先輩たちの意外な素顔に出会えるかもしれません。

昨年度のランチタイムトークでも、いろんな話題が飛び交っていました。勉強や研究の話はもちろんですが、進学・就職・留学の相談や、アルバイト・趣味の話をしたこともありました。ある時は飼い猫の可愛さを自慢し合ったり、またある時は、皆で数学ゲームで盛り上がりました。

昼休みに開催しており、昼食を持参して参加することができます。飲み物が用意されていますので、ちょっとお茶するついでに参加するのもOKです。勉強のことや大学生生活のこと、困っていてもいなくても、お話をしに来てみませんか?たくさん学生の参加をお待ちしています。

【物理科学科】

物理科学科では、毎週火曜日の昼休みに、学生と教員、または学生同士のコミュニケーションを図る場として「ランチタイムトーク」を開催しています。

各教員の専門分野に関するトピックスの紹介や経験談などを発表しています。通常は所属の教員が春学期と秋学期にそれぞれ1回程度で発表していますが、大学院生の研究成果や4年次学生の特別研究の内容などを発表する場合もあります。

飲み物やお菓子などが用意されていますので、弁当などを持参して、気楽に参加できます。

ランチタイムトーク日程

時間: 12:15~13:00

学 科	曜 日	場 所
数理科学科	月曜日または金曜日	万有館4階 サイエンスラウンジ
物理科学科	火曜日	

※日程の変更が出た場合は電子掲示板(POST)に掲示をします。

※飲食が伴いますのでマナーを心がけましょう!ゴミはゴミ箱へ

(次に使用する人のことを考えよう!)

大学院生から勉強についてのアドバイス

【単位について】

1～2年次は多くの授業を取らないといけなくて大変です。特に就職課程を取るとさらに授業が増え大変です。しかし、大変だからといって3～4年次の時に単位を取っても間に合う、卒業出来ると考えない方が良いでしょう。なぜなら3年次からは就職活動や教員採用試験、大学院入試の勉強などで忙しくなるからです。就職活動が本格的になってくると企業説明会や面接が大学の授業と重なるときもあります。このとき単位に余裕がなければ、就職活動を優先させたいと思っても出来なですし、就職活動を優先したため大学がおろそかになってしまい、留年してしまったりは内定が貰えても意味がなくなります。また教員志望や大学院進学希望の人は就職希望の人に比べ大学の授業と予定がかぶることは少ないと思います。しかし、レポート課題が多い授業ではレポートの作成に時間がかかったり、自分の専門分野以外の授業を取らなければいけなかったりするので、出来るだけ早くに必要な単位を取得し試験勉強がしやすい環境を作った方が良いでしょう。

【勉強について】

大学の授業は定義や定理、命題、理論などの説明に多くの時間が必要のため演習が少ないように思います。必修科目である微分積分、代数学・幾何学には演習のための授業があるため問題を解く機会が多くありますが、それ以外の科目は自分で演習をし補う必要があります。大学では証明問題が多く、はじめのうちはどのように問題を解けば良いかわからないかもしれないですが、数をこなせばだんだんと要領が分かってきます。分からないときは先生に質問をすれば教えてもらえるので、どんどん先生の研究室を訪ね質問をしたら良いと思います。この際出来るだけ具体的に自分がどこまで分かっていて、どの箇所が分からないのか説明できた方がより適切なアドバイスを頂けますので、質問をする際はどんな風に分からないのか良く考えてから質問をした方が良いでしょう。

【長期休暇について】

大学生活を振り返り後悔していることは長期休暇をだらだら過ごしたことです。大学の長期休暇はとても長く、高校などと違い宿題もありません。そのため、計画的に長期休暇を過ごさないとだらけてしまうと思います。長期休暇中に新しい分野を始めるのも良いと思いますが、授業では時間がなくやらなかった定理や命題の証明や、飛ばしたセクションなどを勉強したりして習った分野を細部まで完璧にやるのもオススメです。

【授業・単位について】

1回生は必修が多く、高校の勉強と比べて難しくて分からないと感じる方も多くいると思います。しかし、ここで苦手意識を作ってしまうとダメです。なぜなら1回生の必修で習ったことは、2、3、4回生の授業を理解する上でとても大切になるからです。皆、授業で分からない所は必ずあります。分からない所があれば直ちに自分で調べるか、友達や仲間聞いて教えてもらうのがいいです。それでも分からない場合は、先生に教えてもらいましょう。大学は、高校と違い授業の進むスピードがかなり早いので、1回休むと置いて行かれる授業もあるのでなるべく全部出席すること、日々の勉強が大事になります。特に予習と復習が大事になります。後、3分の2以上授業を欠席すると単位がもらえなくなるので要注意！7 semester になった時に、82単位以上ないと卒業見込証明書を発行してもらえないので気をつけてください。

【大学生生活について】

大学生は、高校生と違い自分で授業を組みますので、時間に余裕が生まれます。その時間を使って、アルバイトや部活動、サークル等をするのは、自分の視野を広げたり、コミュニケーションを高めたりするのにとてもよいことだと思います。しかし、アルバイトや部活動などを、一所懸命にやりすぎて、勉学を疎かにしてはダメです。もし、勉学を疎かにして留年してしまうと年間約140万円(特に理系は授業料が高い)の余計に掛かってしまうので要注意です。大学生になったのですから、何か新しい事にチャレンジをしてみて、自分のさらなる可能性を見つけてみたいと思います。

【大学院入試について】

京都産業大学は、秋(4回生の9月頃)と春(4回生の2月頃)に行われる一般入試と学内推薦入試(4回生の6月頃)があります。物理科学科は卒業研究がありますので、一般入試で大学院に行こうと思っている方は、半年前から院試に向けて勉強するのがいいと思います。1回生と2回生の時に授業で取ったノートや小テストなどを残しておく、大学院入試勉強では大きな助けになります。大学院事務室で、過去問をコピーさせてもらえるので積極的に活用しましょう。それで苦手分野を把握して、分からない分野があれば、その分野を教えている先生に聞きに行つて、教えてもらうのが良いと思います。

奨励金制度

奨励金制度は、前年度1年間の学業成績が優秀で、他の模範となる学生を表彰する制度です。

学科	対象学年	各学年人数	奨励金額
数理科学科	2年～4年	3名	10万円(1名)
			7万円(1名)
			3万円(1名)
物理科学科	2年～4年	8名	7万円(1名)
			5万円(1名)
			3万円(1名)
			1万円(5名)

選考基準

- 各学科2年次生から4年次生の前年度の成績優秀者とする。
- 成績は卒業要件科目の成績とし、認定科目並びに教職科目等卒業要件科目外の科目は除く。
- 修得単位については次のとおりとする
 - 2年次生は、合計38単位以上を修得している者
 - 3年次生は、合計74単位以上及び平成25年度に30単位以上を修得している者
 - 4年次生は、合計108単位以上及び平成25年度に25単位以上を修得している者
 - 平成25年度に懲戒処分を受けていない者

成績算出方法

$$\text{○数理科学科} = \frac{\text{2014年度修得評価点合計(専門教育科目)}}{\text{2014年度修得科目数(専門教育科目)}}$$

$$\text{○物理科学科} = \frac{\text{2014年度修得評価点合計(専門教育科目+共通教育科目+融合教育科目)}}{\text{2014年度修得科目数(専門教育科目+共通教育科目+融合教育科目)}}$$

奨学金制度

大学ではさまざまな奨学金制度を設けていますので、その一部を抜粋し紹介します。詳しくは「CAMPUS GUIDE ～知得本～」をご覧ください。

1. 日本学生支援機構の奨学金

貸与額	貸与期間	募集時期
(月額) 1. 第一種: 自宅生 3万円・5万4千円から選択 自宅外生 3万円・5万4千円・6万4千円から選択 2. 第二種: 3万円・5万円・8万円・10万円・12万円から選択	採用年度から最短卒業年限	4月

※出願資格: 日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」と「家計に関する基準」を満たしていること。

2. 大学独自の奨学金

名称	対象人数	給付額	奨学生期間	募集時期
京都産業大学むすびわざ支援奨学金	17名以内	(年額) 所属学部の間年学費額または半期学費額	2年次から3年間	3月

※出願資格: 学業成績が特に優秀で、かつ経済的理由により修学の継続が困難な学生。

名称	給付額	奨学生期間	募集時期
京都産業大学応急育英給付奨学金	半期学費相当額以内	当該学期限り(在籍期間内1回)	随時

※出願資格: 主たる家計支持者の死亡、やむを得ない事情により失職または廃業、会社倒産、自己破産等により家計が急変した学生。ただし、事由発生後12ヶ月以内に出願が必要。

名称	給付額	奨学生期間	募集時期
京都産業大学災害給付奨学金	半期授業料相当額以内	当該学期限り	随時

※出願資格: 自然災害により被災した学費支弁者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な学生。

名称	対象人数	貸与額	奨学生期間	募集時期
京都産業大学課外活動奨励貸与奨学金	毎学期50名以内	(年額) 体育系クラブ所属学生/ 上限30万円 文科系クラブ所属学生/ 上限15万円	当該年度限り(毎年出願可能)	6・10月

※出願資格: 本学公認団体に所属しており、経済的理由により課外活動の継続が困難な学生。

名称	対象人数	貸与額	奨学生期間	募集時期
京都産業大学教育ローン給付奨学金	100名以内	上限5万円 (当該年度に負担した 利子合計額)	当該年度限り(毎年出願可能)	1月

※出願資格: 金融機関の教育ローンを利用して学費等を納入した学生。

名称	貸与額	貸与期間	受付期間
京都産業大学短期貸付金	上限3万円(無利子) ※就職活動・インターシップの費用に限り、上限10万円	3ヶ月以内の分割または1ヶ月以内の一括返済	随時(学生部まで)

※出願資格: 経済的理由により、修学や学生生活が一時的に困難になった学生。

※奨学金に関する質問や相談は学生部(10号館1F)まで。(P.60)

ちょっとリアルなお話

留年について

以下の項目は、これまで低単位に陥った学生、あるいは留年生の傾向をまとめたものです。

留年した場合の経済的負担は、とても大きいものです。

1つでも該当する方は要注意です。

- 自分で起床できずに授業に間に合わない
- 朝食を摂らないことがある
- よく夜更かしをする
- アルバイト、クラブ、サークルと授業のバランスが取れていない
- 授業で先生の板書を書き写すだけで満足している
- 授業後の復習をせず、定期試験前にまとめて勉強している

1～3に該当する方へ

規則的な生活リズムが整えられていない方は授業出席が疎かになりがちです。中学・高校では規則的な生活ができていたはず、大学に入ってからでは言い訳にすぎません。

体調不良等やむをえない理由で休んだ場合でも事情を先生に説明するとともに授業内容を聞きに行くなどしてください。

4に該当する方へ

学生の本分は「勉強」です。授業そっこのけでクラブ、サークルに熱中したり、コンビニの夜勤等で次の日に起床できず、授業に出席できないようでは本末転倒です。

5に該当する方へ

先生の板書をノートに書き写すだけで勉強できたと思うのは大きな勘違いです。特に大学では、すべての内容が板書されるとは限りません。

ノートには、先生が話した重要なことと思われること、自分で気づいたこと、感想も含めてノートし、後で復習できるようにしてください。

6に該当する方へ

日々の復習を怠り、定期試験前にあわてて勉強するという方法をとる方は単位修得が極めて難しくなります。

どの部分が理解できなかったのか、日々確認するとともに、わからなければ先生に質問・相談してください。

定期試験に向けて計画的に準備することが大切です。

【過去5年間の理学部の留年率】

平成22年度	17.2%
平成23年度	27.4%
平成24年度	23.3%
平成25年度	24.8%
平成26年度	14.6%

教員になるには

教職課程

なぜ教員をめざすのか？

どんな教員になりたいのか？

- ・人に教えることが好きだから
- ・今まで支えてくれた恩師のようになりたいから
- ・両親が教師だったから
- ・「先生」ってなんかカッコいい!
- ・数学や理科の世界に魅せられて! などなど…

教員への夢や希望は無限に広がります。

ただし、教員への道のはりは決して平坦ではありません。教員になるためには教員免許状取得者(または取得見込み者)を受験資格とする各都道府県・指定都市教育委員会実施の「教員採用試験」に合格しなければなりません。また、教員採用試験はハードルが高く、大学の授業だけではなかなか突破できないと言われており、早期から試験対策に取組む必要があります。

教職課程教育センター(10号館1F)では「教員採用試験対策講座」を実施し、教員採用への道をサポートしています。

主な教職課程のスケジュール Pickup

4月3日(金)・4月4日(土)

新入生教職課程オリエンテーション

時間:3日 16:00～17:30

4日 14:00～15:30 場所:514教室

4月15日(水) 平成27年度介護等体験ガイダンス(3年次生対象)

時間:13:15～ 場所:5405教室

11月中旬予定 平成28年度介護等体験履修登録申込(2年次生対象)

(所定の期間内に教職課程教育センターまで申込書類を提出)

11月25日(水)予定

教員免許状一括申請説明会(4年次生対象)

時間:13:15～14:15 場所:5301教室(予定)

12月初旬予定 平成28年度介護等体験履修説明会(2年次生対象)

日程等詳細は電子掲示板(POST)でお知らせします。

3月下旬予定 平成28年度介護等体験事前指導(2年次生対象)

日程等詳細は電子掲示板(POST)でお知らせします。

※時間・教室については、変更となる場合があります。必ず事前に電子掲示板(POST)を確認してください。

※ここに掲載したものが全てではありません。スケジュールや各種対策講座については、教職課程教育センターで確認してください。

教員になるには

理学部で取得できる教員免許状

学部	学科	中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
理学部	数理科学科	数学	数学・情報
	物理科学科	理科・数学	理科・数学

教職科目の履修は
できるだけ1・2年次に!!

教職のツボ

3・4年次に学部の専門科目に打ち込み、高度な知識を備えた教員となるには、教職科目を1・2年次でなるべく履修しておくことがお勧めです。

また、教員採用試験の参考書や過去問題集などの教職に関する書籍は、中央図書館、教職課程教育センター、スチューデントラボ(万有館4階)に置いていますので、どんどん活用してください。

教職コンペティション&講演会

教職コンペティションとは、過去に教員採用試験で出題された数学の問題を数理科学科の教員がアレンジして出題し、学生がテスト形式で出来を競い合うイベントです。

出題範囲は大学入試問題レベルの問題や数学パズルなどです。教員採用試験の問題に慣れることと、短時間で問題を解く能力を養うことが目的です。

参加者の答えは、コンペティション終了後に添削し、問題の解答を添付して返却します。自分の間違った箇所をチェックして、同じ間違いをしないようにすれば、本番の教員採用試験に対して、極めて有効です。

教員採用試験本番では、問題を解く速さ、正確さが勝負となります。1年次から参加していれば、相当の場数を踏むことになり、問題を短時間で解く能力が養われていくはずですよ。ぜひ積極的にチャレンジしてください。

また、教職志望の学生向けの講演会も年に1回程度行っています。こちらもぜひ参加してください。

◇春学期開催日程

月 日() 時間:18:20~19:00 場所: _____
 月 日() 時間:18:20~19:00 場所: _____

◇秋学期開催日程

月 日() 時間:18:20~19:00 場所: _____
 月 日() 時間:18:20~19:00 場所: _____

*成績優秀者には図書カードを進呈しています。

*詳細は電子掲示板(POST)・万有館掲示板・教職メーリングリストにて告知します。

教員採用試験対策セミナー

中学校・高等学校の「数学」「理科」の教師をめざす学生を支援するために「教員採用試験対策セミナー」を開催しています。

教員採用試験対策セミナーは、「数学」「理科」とも下記の日程で開催します。
 ※受講料 半期(1セム)2,000円が必要ですよ。

開講科目及び開講曜日時間

- ・数学 火曜6時限 18:30~20:00 基礎クラス
木曜6時限 18:30~20:00 応用クラス
- ・理科 木曜6時限 18:30~20:00 基礎クラス

【春学期(火6)】	【春学期(木6)】	【秋学期(火6)】	【秋学期(木6)】
回	期日	回	期日
1	4月21日(火)	1	4月23日(木)
2	4月28日(火)	2	4月30日(木)
3	5月12日(火)	3	5月14日(木)
4	5月19日(火)	4	5月21日(木)
5	5月26日(火)	5	5月28日(木)
6	6月2日(火)	6	6月4日(木)
7	6月9日(火)	7	6月11日(木)
8	6月16日(火)	8	6月18日(木)
9	6月23日(火)	9	6月25日(木)
10	6月30日(火)	10	7月2日(木)
11	7月7日(火)	11	7月9日(木)
12	7月14日(火)	12	7月16日(木)
13	7月21日(火)	13	7月23日(木)
1	9月29日(火)	1	10月1日(木)
2	10月6日(火)	2	10月8日(木)
3	10月13日(火)	3	10月15日(木)
4	10月20日(火)	4	10月22日(木)
5	10月27日(火)	5	10月29日(木)
6	11月3日(火)	6	11月5日(木)
7	11月10日(火)	7	11月12日(木)
8	11月17日(火)	8	11月19日(木)
9	11月24日(火)	9	11月26日(木)
10	12月1日(火)	10	12月3日(木)
11	12月8日(火)	11	12月10日(木)
12	12月15日(火)	12	12月17日(木)
13	12月22日(火)	13	12月24日(木)

※休日開講日

教職教養問題の配信について

田中(岳)先生が教員採用試験対策の一環として、教職教養に関する問題をメールで配信されます。

ご希望の方は、QRコードを読み取り、[メール作成をクリック](#)、氏名・学部・学科・学年を明記しメールを送信してください。

※QRコードが読み取れない方は、氏名・学部・学科・学年と、件名に「[教職教養問題希望と明記し](#)rikaku-jim@star.kyoto-su.ac.jpまで、メールを送信してください。

教員採用試験合格実績について

過去3年の現役学生合格者数(年度は採用試験実施年度。採用年度は1年後)

平成24年度:6名(数理科2名) 受験者:19名 合格率:32%
 平成25年度:3名(数理科2名、物理科1名) 受験者:14名 合格率:21%
 平成26年度:1名(物理科1名) 受験者:6名 合格率:17%

合格都道府県一覧(卒業生の合格実績も含む)

平成23年度:愛知県高校、大阪府中学、川崎市中学、奈良県、神奈川県
 平成24年度:京都府高校、京都府中学、京都市中学、大阪府中学、滋賀県中学、神戸市中学、富山県中学
 平成25年度:京都府高校、京都府中学、京都市中学、広島県中学
 ※中学・高校で採用の場合は中学に含む
 平成26年度:京都市立中学校



研究者や高度な専門職業人という進路

諸科学が急速な進歩を遂げている現代において、研究機関や企業の研究開発部門など理学研究の第一線を担う人材は、大学院修了が最低限の条件になりつつあります。

理学研究科には、数学専攻と物理学専攻の2専攻を開設しており、それぞれ学部での学びを継承しつつハイレベルな研究に取り組めるようにしています。専攻分野である「数学」と「物理学」は、あらゆる現象を解明するうえで基盤となる、もっとも基本的な学問領域です。

基本的に応用科学に不可欠な学問をより深く学び、研究し、高い専門知識と能力を備えた人材を育成することを目標にしています。

数学専攻

数学解析学、幾何学、代数学といった伝統的な数学に加え、離散数学、確率論、金融工学などの応用数理、さらには数理的な手法を用いるコンピュータ科学も含まれています。また、コンピュータを駆使し、複素力学系や結び目の理論なども研究しています。

取得可能な学位

博士前期課程	博士後期課程
数学専攻 修士(数学)	数学専攻 博士(数学)

取得可能な教員専修免許状

■高校 数学 ■中学 数学

物理学専攻

物性理論、基礎的な物性実験などの伝統的な物理学から、国内でも高い実績を誇る宇宙・天体物理学、環境科学に至る広範な分野にわたって理論と観測を含む実験の両面から活発な研究を行うことができます。

取得可能な学位

博士前期課程	博士後期課程
物理学専攻 修士(物理学)	物理学専攻 博士(物理学)

取得可能な教員専修免許状

■高校 理科 ■中学 理科

募集人員・入学定員

研究科	専攻	入学定員	
		博士前期課程	博士後期課程
理学研究科	数学専攻	5名	3名
	物理学専攻	5名	3名

入学試験日程

入試制度	事前審査締切	出願期間	試験日	合格結果通知日
学内推薦	5/29(金)	5/25(月)～6/3(水)	6/13(土)	6/26(金)
秋季募集	7/1(水)	7/2(木)～7/15(水)	8/28(金) 8/29(土)	9/8(火)
春季募集	1/6(水)	1/7(木)～1/20(水)	2/12(金) 2/13(土)	2/26(金)

学内推薦入試制度

理学研究科および先端情報学研究科への進学を志望される理学部生のために学内推薦入試の制度があります。

学内推薦入試の志願資格基準は、下記のとおりです。

学生募集要項を確認してください。

理学研究科各専攻への学内推薦志願資格基準

(2015年度学生募集要項より抜粋)

1. 理学部の7セメスターに在学している者
2. 受講している4年次配当の特別研究の担当者又は理学部長から推薦状が受けられる者
3. 本研究科への入学を第1志望とし、合格後は入学が確約できる専願者
4. 入学後の勉学について明確な志向と意欲を持つ者
5. 各学科の成績および修得単位の基準は下記のとおり

(1) 数理科学科

- A. 数理科学科開講の専門教育科目の必修のうち、
 - (a)「微分積分学Ⅰ-1・2、Ⅱ-1・2」「代数学・幾何学Ⅰ-1・2、Ⅱ-1・2」の4科目の点数の合計
 - (b)「論理と集合」の点数の半分
 - (c)「集合と写像」又は「プログラミングⅠ」の点数の半分
 - (d)3年次配当の数学英書講読を除く選択科目5科目の点数の合計以上、(a)から(d)までの合計が850点以上である者。
- イ. 6セメスター終了時に、必修科目(数理解学特別研究Ⅱ-1・2は除く。)全ての単位を含む専門教育科目70単位以上かつ、卒業必要単位100単位以上を修得している者。

大学院

(2)物理科学科

- ア. 物理科学科開講の専門教育科目のうち全必修16科目及び選択科目7科目(A、B等は別々に数える。)の成績平均がB5点以上である者。
 イ. 6セメスター終了時に、必修科目全ての単位を含む専門教育科目70単位以上かつ、卒業必要単位100単位以上を修得している者。

先端情報学研究所への学内推薦出願資格基準

学内の大学院入試説明会等でお問い合わせください。

本学独自の奨学金（給付）

大学院生の育成支援を目的とした「大学院生支援奨学金」を設けています。これにより多くの大学院生の経済負担が軽減され、研究や高度専門知識の修得に専念できます。この奨学金は、経済支援として当該学期の学費納付時に授業料から給付額を減じて給付します。

(1)博士前期課程・修士課程対象

①一律給付

対象	博士前期課程・修士課程の全員
給付額	授業料20%相当額
期間	1年(在学中において再申請可能)

②成績優秀者に対する給付(学内推薦入試)

対象	博士前期課程・修士課程の学内推薦入試で入学を許可された者
給付額	授業料70%相当額 (授業料20%相当額の一律給付に授業料50%相当額を加えた額)
期間	1年(標準修業年限内において再申請可能)

③成績優秀者に対する給付(一般入試)

対象	博士前期課程・修士課程の一般入試(※)で入学を許可された成績優秀者
給付額	授業料60%相当額 (授業料20%相当額の一律給付に授業料40%相当額を加えた額)
期間	1年(標準修業年限内において再申請可能)

※社会人対象入試を除く。私費外国人留学生は対象から除く(私費外国人留学生は別途制度あり)。

(2)博士後期課程対象

対象	博士後期課程の全員
給付額	授業料100%相当額
期間	1年(在学中において再申請可能)

大学院入試説明会

理学研究所【数学専攻・物理学専攻】

日時：5月27日(水)

時間：_____

場所：_____

内容：研究テーマおよび講義内容について
院生からのアドバイス
(昨年実施した説明会の内容です)

※詳細は、POSTおよび掲示板にてお知らせします。

資料や学生募集要項の入手方法

10号館1Fの大学院事務室で手に入れることができます。
学生募集要項は、ホームページから申し込むこともできます。

大学院説明会

理学研究所【数学専攻・物理学専攻】

日時：_____

時間：_____

場所：_____

内容：各教員から研究室紹介

※詳細は、POSTおよび掲示板にてお知らせします。

自分さがしの貴重な体験

理学部生おすすめインターンシップ

大学が提供しているインターンシップ科目の中で、就職活動を目前に控える3年次生に最も適している科目はズバリ「**インターンシップ3**」です。この科目は夏休みに国内の企業・団体などでの就業体験と大学での事前・事後授業による科目です。

「インターンシップ3」を受講した多くの学生が就業体験やプログラム全体について、体験・受験してよかったと満足しています。インターンシップでなければ得られない体験や自己成長が得られる機会となります。このチャンスを活かしてください。

主なインターンシップ先(予定・ほんの一部紹介)

【電機・機器・その他の製造・サービス業 他】

- ・(株)川勝總本家
- ・渡辺ハイパ(株)
- ・(株)オンワード樫山 等々

【情報サービス】

- ・協和テクノロジズ(株)
- ・エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)
- ・(株)データ変換研究所 等々

※企業は理学部学生の参加を大歓迎してくれます。

説明会は下記のとおりです。

(1)説明会

(受入企業説明等を行いますので、説明会は2日間共出席してください。)

- ①日時:4月8日(水) 13:00～
- 場所:神山ホール大ホール
- ②日時:4月9日(木) 17:00～
- 場所:神山ホール大ホール

(2)インターンシップ・エントリーシートの受付

- 日時:4月14日(火) 12:00～17:00
- 4月15日(水) 12:00～17:00
- 場所:神山ホール3F 第1セミナー室

※詳細はコーオペ教育研究開発センター(1号館1F)まで! (P.60)

理学部生の主な就職先

イオンアグリ創造(株)、(株)精研、(株)グラフィック、(株)山本製作所、(株)堀場製作所、(株)たけびし、日商エレクトロニクス(株)、(株)三井住友銀行、(株)京都銀行、住友生命保険(相)、(株)NSD、日本郵便(株)、京都府庁、京都市教育委員会(教員)、京都府警察本部

就職ガイダンス(3年次対象)

就職ガイダンスは、就職活動の流れのなかで内定を勝ち取るまでのプロセスを、入門から基礎・応用に至るまで、さまざまな話題を提供し、総合的に理解してもらうことをねらいとしています。その時期に適した情報を提供しており、就職を希望する方の参加は必須となります(民間・公務員・教職含む)。実際の活動に役立つ「自己理解」「情報収集」「履歴書・エントリーシートの書き方」「模擬面接」「企業見学」などのテーマについて講演、模擬面接および座談会等を実施しています。

理工系ガイダンス(3年次対象)

理工系の学部生及び院生に特化した就職活動の情報を発信する場です。理工系の就職状況、学校推薦制度の概要、内定者による体験談を通じ、理工系学生の就職支援を目的として、学部単位、学科単位、研究室単位でガイダンスを実施します。

学校推薦制度(学推)

～選考初期の優遇が受けられる理工系学生(必見)特権制度!!～
企業が大学に対して推薦枠を設けて求人依頼する制度です。第一志望が応募条件のため、内定後の辞退はできません。企業によって異なりますが、応募書類や筆記試験の選考を通して面接を受けることができたり、一次試験を免除されたりするなど、皆さんにとってメリットがあります。学推の求人については、就職登録者へ発信するメールや京産ナビを通じて公開します。学推の求人から学推の求人が届いていれば、そのチャンスを存分に活かしてください。

※本学の就職支援を受ける場合は、就職登録することが必須となります。就職を希望する学生は必ず、就職登録を行ってください(詳細は就職ガイダンス等でお知らせします)。

学校推薦企業一覧(2014年度)

NECネットエスアイ、キュービー、グローリー、SCREENホールディングス、富士通、日本電気硝子、大阪ガス、関西電力、CSK、インターネットイニシアティブetc.

3年次対象就職支援スケジュール年間一覧(2014年度実績)

- 3月 進路調査・プレ就職登録
- 5・7・10・12・1月 就職ガイダンス(第1～5回を実施)
- 5月・10月・3月 筆記試験対策模試
- 8月・9月・1月 筆記試験対策講座
- 10月～ 就職登録(就職を希望する学生は必ず登録)
- 10月～2月 学生就職アドバイザー
- 11月・12月 企業情報フォーラム(企業レポート配付)
- 11月～ 1月 自己アピール対策セミナー
- 11月～ 1月 業界勉強会・企業説明会
- 11月～ 3月 模擬面接(初級編・実践編)
- 12月 グループディスカッション対策講座
- 4月 ベストマッチングセミナー
- 1月 就活祭
- 3月 理工系合同企業説明会

※行事の実施日等については、進路・就職支援センターからのメール(携帯・PC)、京産ナビ(行事スケジュール)などで確認しよう!

合同企業説明会（4年次対象）

本学生の採用意欲の高い企業を学内に定期的に招聘し、企業説明会を行っています。毎年、この合同企業説明会での出会いをきっかけに内定者が出ているイベントです。

求人紹介フェア（4年次対象）

本学に直接届く4年次向けの求人のうち約250社を学生に紹介し、多くの内定につなげています。また、本企画では求人を紹介するだけでなく、求人選びのポイントや、求人の中から当日選んだ企業へよりマッチングできるよう、応募希望シートを記入し、そのシートを基に、進路・就職支援センタースタッフとの面談等も行っています。

4年次対象就職支援スケジュール年間一覧（2014年度実績）

5・6・9・11月	合同企業説明会
5月～2月	単独企業説明会
5・6月	合説前セミナー
7月	外部機関見学登録会
9月	就活スタート講座・志望動機攻め講座
10月	求人紹介フェア
10月	秋学期内定者卒業生との交流会
10月～3月	マッチング面談
11月～3月	必勝面接対策講座

頑張るあなたを応援します

進路・就職支援センターを訪れる理系の就活生に「そんなこと書いていいのですか?」と聴かれます。これは企業に提出する履歴書やエントリーシートの自己PRを添削しているときのことです。就活生の大半は、あまりさわりが無い、耳ざわりの良い言葉を作成してきました。

履歴書で自分を紹介するときの前提として、まずは自分が自分と友達になれているかどうかから始まります。自分と友達になれていると自分を客観的に見ることができ「これが私のいい所」「これが私の得意なところ」（長所・短所）が言えるようになってきます。自分を好きな気持ちで大切にしているという自分の知的好奇心をすぐられる事柄を「文字」と「言葉」で表現できるようにします。

また、「専門科目は就職先には直結しないんです」という言葉も耳にします。理系学部専門科目を就職に結びつけるには、大学院修了が最低限の条件になりつつあります。しかし、学部での学びは就職と自分をつなげる指標となり、それは就職後にとっても役立つはずです。

数理科学科の学生は「数学」を追求することで、論理的思考力をも身に付け「解」を求めるプロセスの重要性を学び問題解決能力が身に付いていきます。脳心理学では「脳が快を求めると言われ「こころよさ」は「理解する」「解決する」という現象にも繋がります。数学を学んだ学生は、数字に目慣らされていることにより企画・営業などあらゆる面で強みが発揮できます。複雑に絡み合った物事をきれいに立て分け、整理して考察することができるようになります。

物理科学科の学生は物理の「基礎」を学ぶことで、他の分野、例えばサービスエンジニアに進み、そこで新しい装置やシステムに出くわしても「作られた発想・考え方」が物理で学んだ考えに類似していると気づきます。企業は、知識ではなくモノの見方や考え方が訓練されていることに期待し、どのような職種にも対応できる学問として期待しています。

理学とは「コトワリ」の学問です。それは物事や現象へのコトワリの中に「私」自身への「コトワリ」にもつながります。理学部生は4年間かけて論理的思考を磨いています。この客観的に自分自身を見つめる力を磨きながら、主観的な自分自身を俯瞰（ふかん）する力を鍛えているのです。

私たちが進路・就職支援センターは、頑張る理学部生生の話を聴くことを楽しみにしています。

図書館書評大賞

図書館では、学部学生を対象に、本学図書館が所蔵する図書の中から自分の興味ある図書を選び、その内容を簡潔にまとめながら、図書の魅力や評価のポイントを表現する書評を募集します。

書評大賞は、読解力や論理的思考能力、文章表現能力の向上およびレポート・論文作成能力、情報活用能力の育成を目的としています。

あなたも書評を書いてみませんか。応募をお待ちしています。

応募要件

- ① 本学図書館所蔵図書を対象とする。
- ② 文字数：1篇につき1,600字以上2,000字以内。原稿は、所定の様式をダウンロードして作成すること。
- ③ 応募作品は本人のオリジナルであり、かつ未発表であること。インターネットなどからの盗用・剽窃は厳禁。
- ④ その他：1人複数篇の応募可。ただし入賞は1人1篇。応募作品の著作権は京都産業大学に帰属する。

入選各賞

大賞	1名（表彰状+副賞：図書カード 20,000円）
優秀賞	3名（表彰状+副賞：図書カード 10,000円）
佳作	5名（表彰状+副賞：図書カード 5,000円）
その他協賛各社・団体より賞品あり。	

※応募の詳細については、決まり次第POST、図書館Webサイトに掲載しますので確認してください。

「書評大賞」講演会開催

図書館では、書評大賞の実施に先立ち、「書評大賞」講演会を開催する予定です。これまでに、芥川賞受賞の平野啓一郎さん、モブ・プリオさん、川上未映子さん、直木賞受賞の朱川湊人さん、角田光代さん、村山由佳さん、石田依良さん等をお招きしました。

今年度の講師は検討中ですが、文章を書くことや、書評大賞への応募に挑戦するためのヒントとなるお話をさせていただく予定です。参加者の感想の中には、講師の価値観や考え方が参考になったという意見もあります。ぜひ参加してください。詳細はPOST、図書館Webサイトに掲載しますので、確認してください。

果敢にチャレンジする学生応援プログラム！

サギタリウス・チャレンジ

「夢」の実現や、自分の新たな可能性に果敢にチャレンジする学生を応援するのが、京都産業大学独自の学生サポートプログラム「サギタリウス・チャレンジ」。

夢にチャレンジしたい学生を応援する「チャレンジ部門」、身につけた外国語で熱く語る「スピーチコンテスト部門」など様々なコンテストを実施し、優秀な企画や作品などには奨励金を授与します。

あなたも、まずはチャレンジすることから始めてみませんか。多数のチャレンジをお待ちしています。

チャレンジ部門

募集期間：4月中旬頃～

説明会・応募要領等の詳細についてはPOST、立て看板等で確認してください！

認定されれば
最高50万円の
奨励金を支給

スピーチコンテスト部門

日本語・英語スピーチコンテスト：2015年12月9日(水)
応募期間等の詳細についてはHPで確認して下さい！

入賞者には
サギタリウス賞
奨励金授与

※詳細は、大学ホームページ、サギタリウス・チャレンジのページを参照してください。

学内でのアルバイト

アルバイトをやってみたい！

でも勉強で時間もないし、と悩んでいる皆さん。

学内でのアルバイトなら授業時間の合間にできたり、自分の勉強になる内容の仕事が盛りだくさん！

ちょっとしたお手伝いから、学生サポート、スキルが上がれば教員サポートや授業・自習補助にも挑戦できます。

募集はPOST・大学HPでチェックしてください。

こんなアルバイトがあるよ

情報センター(計算機運用補助員)・図書館・入学センター(キャンパスツアー補助)・進路センター(受付・書類整理等) / 期間限定：2年次生秋・3年次生春 / 各学部(授業・自習補助)・附属中高(模試監督)など。

ちょこっと紹介

情報センター(計算機運用補助員)

コンピュータの知識を身につけたい、また本学のコンピュータ環境を良くしたいという意欲ある方の応募をお待ちしています。

■業務内容

①計算機運用補助業務

- ・情報センターが管轄する情報機器および設備の運用補助
- ・情報処理教室の美化、各種消耗品交換および開閉室管理
- ・管轄するコンピュータおよびプリンタのトラブル対応
(質問・相談受付業務、障害復旧業務)
- ・教室情報設備(プロジェクタ・書画カメラ等)のトラブル対応
- ・各種マニュアルの作成
- ・教材コンテンツ制作室受付
- ・その他、情報センター職員からの指示によるコンピュータ運用管理補助

②教員情報環境支援業務

- ・教員からの依頼による質問・トラブル対応などの業務
- ・研究室配備パソコンのトラブル対応
- ・個人所有パソコンのトラブル対応
- ・その他、情報センター職員からの指示による業務

※アルバイト経験がなくても、研修を受けた後に勤務できます。

学内の施設を活用しよう

図書館

利用時間

- 平日 8:30～20:00
- 土曜日 8:30～18:00

※授業・定期試験期間外など、時期により変動します。

詳細は図書館Webサイトの「ライブラリーカレンダー」でご確認ください。

Information

利用案内

●メインカウンター(2F)

圖書の貸出・返却、グループ学習室や研究個室の利用など、ほとんどの手続きを受け付けています。

●レファレンスカウンター(2F)

図書館の利用方法や資料・情報の探し方など、図書館や資料に関するさまざまな質問を受け付けています。

●視聴覚カウンター(1F)

視聴覚資料(DVDやCDなど)やプレゼン練習に使える視聴覚室の利用などを受け付けています。

※図書館利用の際には必ず「学生証」を持参してください！

資料案内

資料区分	フロア	付 記
普通図書	3F・2F・B1F・B2F 自動書庫	貸出は10冊2週間(メインカウンターで手続き) ※論文貸出は10冊1ヶ月
指定図書	2F	貸出は3冊1週間(メインカウンターで手続き) ※授業を理解するための必須資料として担当教員が指定する図書
参考図書	3F・2F	館内での閲覧のみ
資格試験資料	3F	貸出は3冊2週間(メインカウンターで手続き) ※各種資格試験に必要とされる最新の問題集等
新聞・雑誌	2F・B1F・自動書庫	館内での閲覧のみ(2F以外の資料はメインカウンターで手続き)
視聴覚資料	1F	館内での視聴のみ(視聴覚カウンターで手続き)
マイクロ資料	1F	館内での利用のみ(視聴覚カウンターで手続き)
データベース	Web上	Web上で公開中のデータベースは学内どこからでもアクセスできます ※CD-ROMおよび一部のデータベースは3F情報検索用PCでの利用のみ

図書館のツボ

理学部学生には欠かせない「Science」「Nature」など雑誌の最新号を、学内どこからでもインターネット経由で読むことができます。アクセスは図書館Webサイトから、「むすびわざサーチ」の「電子ジャーナル」バナーをクリック。

とにかく便利な図書館Webサイト

<http://www.kyoto-su.ac.jp/lib/>

膨大な蔵書や資料、新聞や雑誌記事などの検索は、図書館Webサイトからのアクセスが便利。必要な情報へダイレクトにつながります。

- ライブラリーニュース / 図書館からの最新情報をお知らせします。
- ライブラリーカレンダー / 開館時間や休館日の確認ができます。
- 蔵書検索 KSU-Cat / 図書や雑誌に限らず、DVDやCDなどの視聴覚資料も簡単に検索できます。

マイライブラリー機能も活用してください。

・利用状況や予約の確認 ・貸出の更新 ・マイフォルダ(ブックマーク、検索履歴)

- むすびわざサーチ / 図書館で提供している資料(蔵書、データベース、電子ジャーナルなど)を、1つの検索窓からまとめて検索することができます。
- ※収録可能な資料から順次検索対象範囲を拡大する予定です。
- データベース / 本学が契約しているデータベースなどへのアクセスが可能。

プレゼン練習に使える! 図書館ホール、学習室

●図書館ホール[1F]

ガイダンスなどの行事や授業の無いときは常に開放しています。可動式の机と椅子を組み合わせてディスカッション等を行うことができます。

●グループ学習室[2F・3F]

図書館の資料を活用し、グループで学修するのに便利です。

3～4人用:4室 4～8人用:6室

※利用の申し込みは「メインカウンター／2F」まで。専用パソコンの貸出も可。

●研究個室[2F・3F]

集中して学修するのに最適な環境です。

1人用:16室 2人用:1室 対面朗読用:1室

※利用の申し込みは「メインカウンター／2F」まで。

●視聴覚室[1F]

豊富に揃ったDVDやCDなど、授業の合同に楽しめる最新の作品も少なくありません。6人以上で利用可能な部屋は、プレゼンの練習にも使うことができます。

1～2人用:27席 3～5人用:3室 6～20人用:2室

※利用の申し込みは「視聴覚カウンター／1F」まで。

知らなきゃ損! 資料・情報の入手方法

●レファレンスカウンターに相談しよう

必要な資料の探し方が分からない、何を使って探したらいいか分からないなど、とにかく「困った」ときは「レファレンスカウンター」に相談するのがコツ。

資料や情報の入手などについて、あらゆる疑問や質問に応えてもらえます。気軽にどうぞ。

●相互利用サービスを使う

利用したい資料が本学図書館にない場合は、他の図書館での閲覧や資料の取り寄せ(館内利用)が可能。依頼には多少の時間が必要なので、とにかく早めにレファレンスカウンターで相談することが大切です。

●購入希望図書制度を使う

利用したい図書や雑誌、視聴覚資料(DVDなど)が本学図書館にない場合、希望する資料の購入を申し込むことができます。

学内の施設を活用しよう

教学センター

教学センターは、修学上の学生相談・諸手続きの総合窓口です。履修相談をはじめ、定期試験のレポート提出、住所変更や証明書の発行、学費に関する相談など様々な手続きを取り扱っています。いつでも入室できるよう、教学センターに昼休みはありません。面談スペースを設け、ゆっくりお話しできるようにしていますので、相談ごとがありましたら、気軽に教学センターに来てください。

場所: 10号館1階 (P.60)

窓口時間: 別冊ガイドの窓口スケジュールを参照してください。

教学センタースタッフが、きめ細やかに相談に応じます。

取扱い内容

教学

履修登録、授業、科目に関する相談

試験

定期試験、レポート試験、追試験の申請手続き

学費

学費、延滞や未納に関する相談や申請手続き

身上

休学・退学・復学・復籍・再入学に関する相談や申請手続き

これ以外でも困ったことがあればいつでも相談に来てください。

保健管理センター

保健管理センターでは、医師・看護師が常駐し、学生・教職員の健康診断・健康相談・禁煙支援・応急処置などを行っています。また、保健管理センター内に保険医療機関の指定を受けた診療所を併設して保険診療を行っています。

禁煙指導や健康相談もOK!!

●保健管理センターでは医師や看護師による禁煙指導や健康相談も受けられます

※本学ホームページからもアクセスできます。

(トップページ→大学紹介→施設→保健管理センター)

(診療科目と診療時間)

曜日	診療科目	診療受付時間
月	内科	10:00～12:45 14:15～15:45
火		
水		
木		
金		

※土・日・祝は休診。

※臨時休診や診療日時が変更される場合もあります。

(診療を受ける手順)

- 1 受付
 - 受付へ「学生証」「保険証※」と「診察券」を提示
 - ※保険証の提示がない場合は全額自己負担となるので注意してください。
- ↓
- 2 診察
 - 診察・検査・処置・薬の処方など
 - ※専門病院を紹介する場合があります。
- ↓
- 3 支払
 - 支払
 - ※「保険診療」において、本人が支払う自己負担金が発生します。
 - 支払った分のお金は、学生健康保険互助会に請求することができます。
 - 詳しい申請方法は、「学生健康保険～利用の手引き～」を参照してください。

平成27年度 理学部教員 オフィスアワー一覧

※下記の曜日時間帯は、授業期間中に限定。

数理科学科

教員氏名	曜日	時間帯	場所	備考
石田 久	火	2時限(10:45~12:00)	B321研究室	
牛瀧 文宏	金	12:30~13:15	B325研究室またはサイエンスラウンジ	
田中 立志	月	昼休み(12:15~13:15)	B322研究室	
東谷 章弘				
福井 和彦	火	12:15~13:15	B313研究室	
細野 雄三	火	昼休み(12:15~13:15)	B314研究室	
正岡 弘照	火	3時限(13:15~14:45)	B326研究室	
三好 博之	金	昼休み(12:15~13:15)	B323研究室	ランチタイムトーク 担当日は、サイエンスラウンジ
村瀬 篤	木	昼休み(12:15~13:15)	B309研究室	
森 隆一	金	4時限(15:00~16:30)	第1研究棟813研究室	
柳下 浩紀	火	13:15~14:00	B324研究室	
矢野 裕子	春学期のオフィスアワーはありません			
山田 修司	水	昼休み(12:15~13:15)	B310研究室	
	木	1時限(9:00~10:30) 5時限(16:45~18:15)		
渡辺 達也		海外出張中		

物理科学科

教員氏名	曜日	時間帯	場所	備考
伊藤 豊	月	昼休み(12:15~13:15)	B306研究室またはB203実験室	
	火	昼休み(12:15~13:15)		
内田 和之				
大森 隆	月	16:45~17:30	B308研究室	
河北 秀世	金	4時限(15:00~16:30)	神山天文台 研究室1	
岸本 真	火	15:00~16:00	B327研究室	
九後 太一	木	15:00~16:00	1号館1413研究室	
佐川 英夫	木	2時限(10:45~12:15)	B311研究室	
下村 晋	金	5時限(16:45~18:15)	B304研究室	
鈴木 信三	木	17:00~18:00	B305研究室またはB204実験室	
瀬川 耕司				
高木 征弘	水	昼休み(12:15~13:15)	B315研究室	
高谷 康太郎	火	昼休み(12:15~13:15)	B318研究室	春学期
	水	2時限(10:45~12:15)		秋学期
谷川 正幸	月	5時限(16:45~18:30) 6時限(18:45~20:15)	BB13実験室	
原 哲也	金	16:45~17:30	B320研究室	
山上 浩志	月・火	昼休み(12:15~13:15)	B316研究室	
米原 厚憲	木	3時限(13:15~14:15)	B319研究室	

よく利用する建物(館)

- 万有館(理学部)
- 12号館
- 1号館
- 本館
- 10号館
- 大教室棟(6号館)

ここに載っていない建物については、「知得本」でチェック!

POINT

ほとんどの教室ナンバーの最初の数字(1桁もしくは2桁)とアルファベットが建物(館)を示しています。教室が何号館かわからない場合は最初の数字で判断してください。

【例】●B405教室→万有館4階

- 103教室→1号館
- 12304教室→12号館3階

※ただし、514～519教室は大教室棟(6号館)です。

601・605～610教室は本館です。

※情報処理教室等はこの限りではないので、各フロアマップを参照ください。

ラーニング commons を利用する

雄飛館2・3階

- ・様々な人達と思う分ディスカッションし、意見を戦わせる!
- ・他学部の学生・先生を相手にプレゼンテーション・スキルを思う存分トレーニングする!
- ・他学部の学生のプレゼンテーションを観て学ぶ!
- ・…そんな場所です。

研究発表の練習やグループディスカッションに積極的に利用してみよう!
ぜひ一度、足を運んでください。

万有館(理学部)

P.67,68 Map②

4F サイエンスラウンジ、スチューデントラボ、B405・407教室
407情報処理教室、B410・411大学院講義室、B412～414演習室

3F B301～327研究室



2F B201～204実験室、B209実験室、B206・207物理学実験室、B208物理学研究室



1F

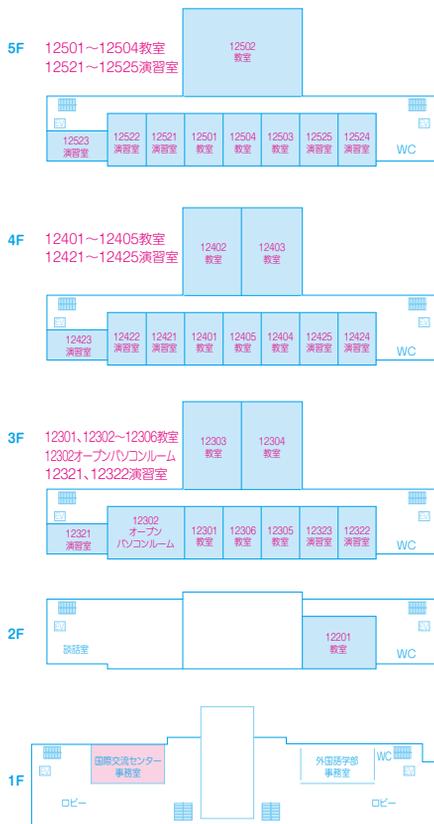


※赤線(=)は掲示板の位置です。

B1F BB01・02暗室、BB06生物・地学実験室、BB07～10実験室
BB11化学実験室、BB12・13実験室

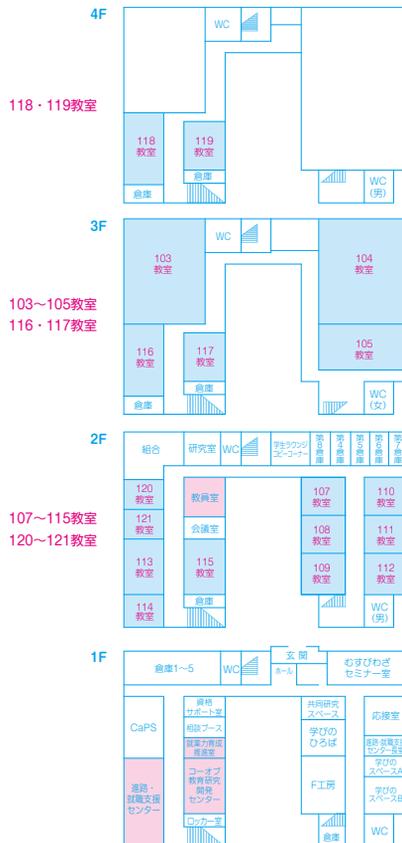
12号館

P.67,68 Map⑦



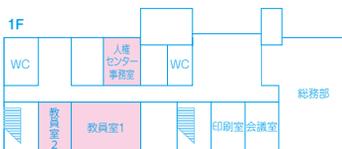
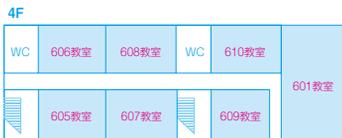
1号館

P.67,68 Map①



本館

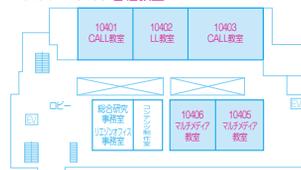
P.67,68 Map④

601教室
605～610教室

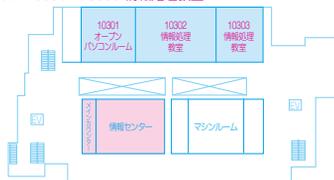
10号館

P.67,68 Map③

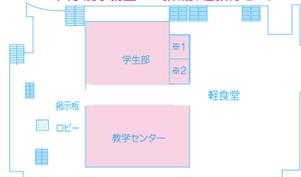
4F 10401～10406 各種教室



3F 10301～10303 情報処理教室



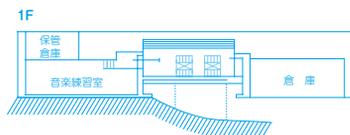
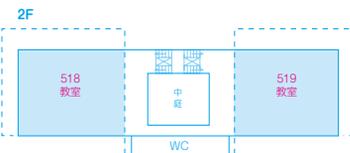
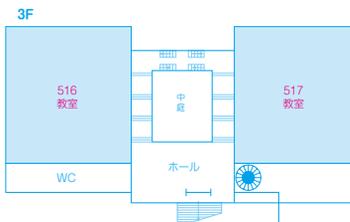
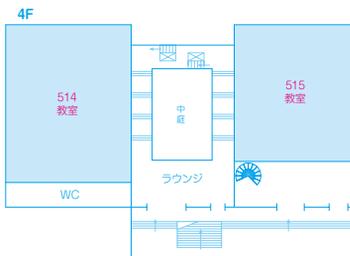
2F 10201～10205 情報処理教室

1F
*1大学院事務局 *2教職課程教育センター

大教室棟(6号館)

P.67,68 Map14

514~519教室



利用頻度の高い窓口一覧

場所	窓口取扱時間	連絡先
教学センター	時期により窓口時間が異なります。別冊ガイドを参照ください。	075-705-1985
理学部事務室	平日 8:45~16:30 土曜 8:45~12:00	075-705-1463
学生部	平日 9:00~16:45 土曜 9:00~12:00 ※時期により窓口時間が異なります。詳細はHPをご確認ください。	075-705-1432
学生相談室	平日 8:45~16:30 土曜 8:45~12:00(※予約受付のみ)	075-705-1434
ボランティアセンター	平日 8:30~20:00 土曜 8:30~18:00	(障がい学生支援)075-705-1981 (ボランティアセンター)075-705-1530
図書館	平日 8:30~18:00 ※授業・定期試験期間外等、時期により変動します。詳細は「ライブラリーカレンダー」でご確認ください(P.48)。	075-705-1446
進路・就職支援センター	平日 8:45~18:00 土曜 8:45~11:30	075-705-2945
コープ教育研究開発センター	平日 8:45~16:30 土曜 8:45~12:00	075-705-1754
教職課程教育センター	授業期間(4月新学期授業開始から2週間前/9月新学期授業開始から2週間前) 平日 8:45~18:30 土曜 8:45~12:00 授業期間(上記を除く期間) 平日 8:45~16:30 土曜 8:45~12:00	075-705-1479
保健管理センター	平日 8:45~16:30 土曜 8:45~12:00 ※診察受付時間 10:00~12:45/14:15~15:45 ※(土・日・祝は休診)	075-705-1511
ブックセンターAscella	平日 8:45~17:30 土曜 8:45~14:00	075-708-1356
Campus shop M's style	平日 8:45~17:30 土曜 8:45~14:00	(文具・書籍コーナー)075-705-1570 (パソコンショップ)075-707-5535
トータル日本(学内)	平日 9:30~17:30 土曜 休業	075-705-2855

※教学センター以外13:00~14:00除く

●学生食堂一覧

場所	名称	平常営業時間
10号館 1F	はんなり食堂	平日 10:00~16:00 水曜 10:00~15:00
神山ホール 4F	ラウンジふるさと ※12時~13時教職員専用 ※14時~15時ドリンクのみ	平日 11:00~15:00 水・土曜 11:00~14:00
並楽館 1F	カリーハウス	平日 11:00~14:00
並楽館 1F	らーめん吾馬力	平日 11:00~19:00 土曜 11:00~15:00
並楽館 2F	MIYAKO製麺	平日 11:00~15:00
並楽館 2F	cosmic bakery cafe	平日 10:00~17:00
並楽館 3F	LIBRE (リブレ)	平日 8:30~15:00, 17:00~20:30 土曜 10:00~14:00 ※8:30~10:00焼き付き食のみ
並楽館 4F	BABY FACE PLANETS	平日 11:00~15:00
7号館 1F	ふじかつ	平日 11:00~15:00
7号館 2F	なごみ亭	平日 11:00~14:00

各種証明書の交付申請

【証明書自動発行機で発行できる証明書】

証明書自動発行機の利用には学生証と下記手数料が必要です。

証明書種類	費用	備考
成績証明書	¥100	春学期は7・8セメスター生対象 秋学期は8セメスター生のみ対象 ※各学部が定める発行基準を満たした場合に限る
成績証明書(卒業見込付)		
卒業見込証明書		
健康診断証明書		
在学証明書	無料	当該学期4月の学部7・8セメスター生・大学院生を対象で4月下旬から発行 ※上記対象者以外は保健管理センター窓口で4月下旬から発行(下記参照)
学籍証		
卒業証明書	¥100	当該学期の卒業生対象で卒業式当日から当該学期末までの期間発行(期間後は教学センター窓口で発行)
卒業・成績証明書		
日本語教員養成コース単位修得証明書		
英文卒業見込証明書		
英文在学証明書	無料	当該学期の卒業生対象で卒業式当日から当該学期末までの期間発行(期間後は教学センター窓口で発行)
英文卒業証明書		

◎場所:10号館1F・証明書自動発行コーナー

【各窓口で発行できる証明書】

下記の各証明書の発行には学生証と下記手数料が必要です。
取扱窓口で所定の用紙に必要事項を記入して申請してください。

証明書種類	費用	取扱窓口	備考
各種試験等の受験に必要な証明書	¥200	教学センター/ 10号館1F	教学センターでの事前相談が必要
教育職員免許状取得見込証明書	¥100		教育職員免許状取得見込者のみ(翌日の発行となります)
教員採用試験に関する人物証明書	—	教職課程教育センター 10号館1F	本人がゼミ担当教員に作成を直接依頼して必要事項を記入した後に交付窓口で証明印を受ける 保護者印とは異なる教育職員免許状に規定された学年単位の区分により書記されたもの(発行まで出戻度をお願いします)
学力に関する証明書	¥200		在籍期間の証明が必要な場合等に発行
在籍期間証明書	¥200		
退学証明書			
英文成績証明書		教学センター 10号館1F	
英文成績証明書(卒業見込付)	¥100		春学期は7・8セメスター生対象,秋学期は8セメスター生のみ対象 ※各学部が定める発行基準を満たした場合に限る
英文卒業・成績証明書			当該学期の卒業生対象で卒業式当日から当該学期末までの期間発行(期間後は教学センター窓口で発行)
英文在籍期間証明書	¥300		
健康診断証明書	¥100		学部1～6セメスター生
英文健康診断証明書	¥300	保健管理センター	
診断書(和文・英文)	¥500		

各種願出・届出・手続きなど

【証明書自動発行機で取り扱う願出・届出・手続きについて】

願出・届出・手続き	費用	備考
仮学生証(定期試験期間中のみ)	無料	学内のみ有効,年間5枚まで(有効期間は発行日当日限り),定期試験の受験,定期レポートの提出以外の目的で使用することはできません
学生証再交付	¥1,000	申請用紙取得後,必要事項を記入して教学センター窓口へ提出 (発行日の翌日以後に発行) ※再交付申請には証明写真(カラー,縦4cm×横3cm,3ヶ月以内に撮影したもの)が必要

※学生証は,身分証です。学生証が破損している場合や写真が不鮮明な場合は,教学センター窓口へ相談してください。

【願出・届出・手続きについて】

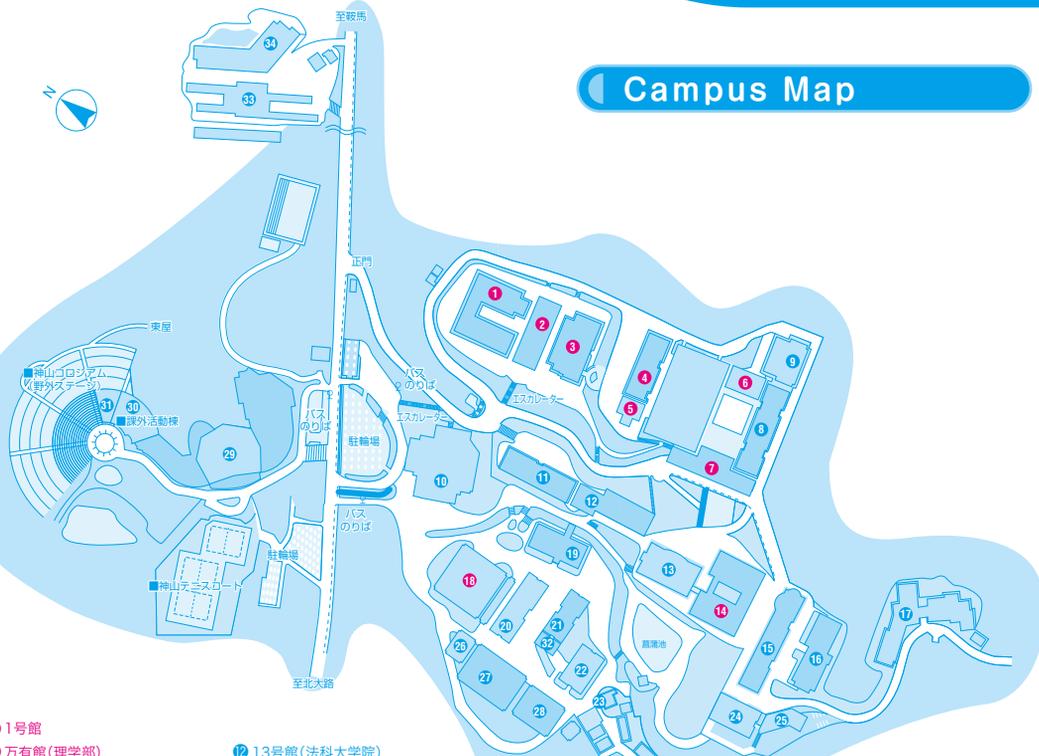
下記の各種願出・届出・手続きについては,教学センター窓口で所定の用紙に必要事項を記入の上,学生証と印鑑を持参して願出して(届けて)ください。

また保証人(保護者)の署名,捺印を必要とする場合もありますので,早めに相談に来てください。

なお,願出・届出・手続きによっては提出が遅れると修学に支障をきたす場合があるので注意してください。

願出・届出・手続き	取扱窓口	備考
休学願	教学センター/ 10号館1F	履修要項参照
復学願		
退学願		
復籍願		
再入学願		
転学部願		
転学科願		
身上変更届		
住所変更届		
保証人変更届		
学費延納額		
通学証明書交付手続き		

Campus Map



- 1 1号館
- 2 万有館(理学部)
- 3 10号館(情報教育棟・食堂)
- 4 本館
- 5 神山天文台
- 6 雄飛館(コモンズ・書店など)
- 7 12号館(外国語学部)
- 8 3号館(外国語学部)
- 9 7号館(食堂・クラブBOX)
- 10 神山ホール
- 11 4号館(法学部)

- 12 13号館(法科大学院)
- 13 並楽館(食堂・コンビニなど)
- 14 6号館(大教室棟)
- 15 5号館(経済学部・経営学部)
- 16 11号館(文化学部)
- 17 第1研究室棟
- 18 中央図書館
- 19 第2実験室棟(コンピュータ理工学部)
- 20 第2研究室棟
- 21 第1実験室棟(総合生命科学部)

- 22 9号館
- 23 特定網室(温室棟)
- 24 第3研究室棟
- 25 第4研究室棟
- 26 第5研究室棟

- 27 15号館(総合生命科学部)
- 28 14号館(コンピュータ理工学部)
- 29 総合体育館
- 30 課外活動棟
- 31 第2課外活動棟
- 32 16号館
- 33 追分寮
- 34 国際交流会館

